The Article 9 Society Hiroshima
第九条の会ヒロシマ
会報 71号
2011年9月

世話人代表　岡本三夫（広島修道大学名誉教授）
連絡先　〒734-0015　広島市南区宇品御幸1-9-26-413
TEL　070-5052-6580　E-mail：fujii@jca.apc.org（藤井）
FAX　082-283-7789（佐々木孝）
ホームページ：http://9-hiroshima.org/
郵便振替 01390-5-53097 第九条の会ヒロシマ 年会費2,000円

憲法のつどいひろしま 2011

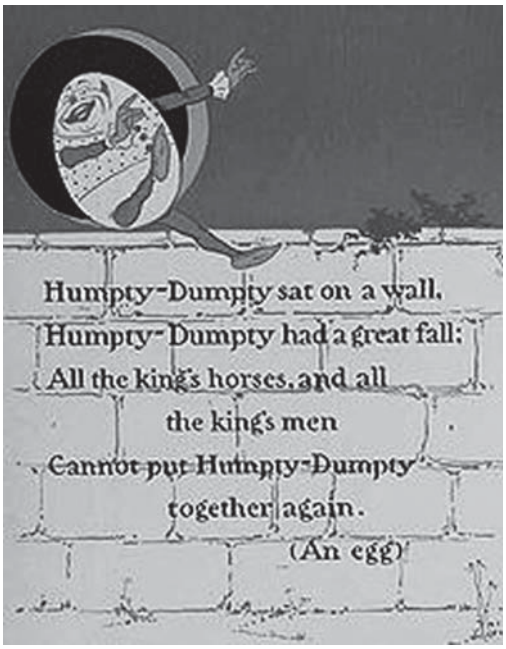
ヒロシマ・ナガサキから フクシマへ
原爆と原発

11月1日（火）　18：30～21：00

中国新聞ホール

お話：アーサービナードさん

1990年来日、91年に詩集「釣り上げては」で中原中也賞受賞。近著に小森陽一さんとの対談「泥沼はどこだ、言葉を疑い、言葉で闘う」がある。広島在住。



今、「放射能安全神話」のために、子どもたちが被曝の危険にさらされています。でも、「100ミリシーベルト以下は安全である」かのような発言を繰り返しているのがヒロシマ、ナガサキの専門家なのです。核エネルギー推進のために、「苦しめられた核だが、平和利用なら喜ばしい」と被爆者を欺き、利用し、広島が福島の被害を増幅させることになってしまいました。しかし歴史に蓋をすることはできません。ここから始めるしかないのです。

アーサービナードさんのお話を聞くと、頭が活発に動きだし、これからのために元気になりそうです。どうぞご参加ください。

主催：広島県９条の会ネットワーク
共催：医療人九条の会ひろしま

会報71号　目　次

1	広島県9条の会ネットワーク憲法のつどいのお知らせ	
2	自分史中の戦後民主主義・出発点	岡本三夫
3	野田新政権との対決	高田健
4～5	「ディエゴ・ガルシア米軍基地」を考える	田中利幸
6～7	さよなら原発　1000万人署名を前に	富山洋子
8～9	教科書採択問題	山川滋
10～11	8・6新聞意見広告報告	第九条の会ヒロシマ世話人
12	皆さんからのメッセージ	（佐々木孝入力）
13	広島県9条の会ネットワーク交流会報告	石口俊一
14	ヒロシマの８６	岡田和樹　藤井純子
16	福島の子どもたちを広島にむかえて	岡本法治
17～18	福島いわき市に行ってきました!	藤井純子　渡田正弘
19	活動報告、	
20	お知らせ、後記	

一方で福島原発事態収束の道筋も見えず放射能汚染の拡大を心配する今も改憲の動きが進んでいます。96条改憲議連や、首相に強大な権限を与え、人々の人権を制限する「緊急事態基本法」、自衛隊のソマリア派遣１年延長、ジプチに自衛隊基地建設、南スーダンPKO部隊派遣要請…９条を持つこの国を危険な方向に進ませてはなりません。

自衛隊災害派遣 10万人体制は終了しましたが、その間、攻めてくる国はありませんでした。そもそも東アジアで緊張を作っているのは誰が見ても米国と日本であることは明らかです。自衛官は、災害救助で多くの命を救いました。銃を持ち、殺し殺されるかもしれない海外派兵よりずっと喜ばれたのです。自衛隊の役割を考え直す時です。

福島第１原発作業員が急性白血病で死亡という怖れていた事態が起こりました。アメリカの良心的な技術者は福島原発型マーク１は地震に弱く、80年代、地震多発地帯では廃止すべきと言われていましたが、そんな日本のアメリカまかせ、思考停止状態がこの事態を起こしたのです。

憲法公布から65回目の記念日に、平和に生きる道を考えていきましょう。

前田恵子さんが寄せて下さった猫のイラスト
アーサーさんは猫が大好きなんですって！？

【巻頭言】　自分史中の戦後民主主義・出発点

岡本三夫（第九条の会ヒロシマ世話人代表）

私は 1933 年（昭和８年）生れだから、終戦時には 12 歳、中学１年生の夏だった。それまで、私達国民は毎日のように「大本営発表」なるニュースをラジオで聞かされ、それを信じていた。「玉砕」のニュースはあったものの、全体として、戦況は有利で、「日本が負ける」などとは、誰も信じていなかった。連戦連勝を伝える東条英機首相のいくぶん甲高い声が今でも耳に焼き付いている。

戦争に負け、意気消沈した世相の中で、戦後の貧しい生活が始り、ひもじい思いの毎日が続いた中で詠んだ拙い短歌が手元に残っている。

薄暗き部屋のラジオに聴き入りし、東條は死刑、少年の日

戦時中の内閣総理大臣・東条英機首相が戦犯（戦争犯罪人）として逮捕され、連合国軍事法廷（極東裁判所）で審議され、死刑の判決が出た直後の短歌だった。すでに「敗戦の詔勅」によって歴史的審判が下ったことは知っていたが、戦時中の指導者だった東條英機首相の死刑判決は五臓六腑に突き刺さった。薄暗い豆電球ひとつの部屋で手作りのラジオから聞こえてくる死刑判決のニュースだった。

私にとって、敗戦と米軍占領下の生活は「革命」みたいな体験だった。マッカーサー総司令部による戦後日本の政治は決して苛酷なものではなく、戦時中の不自由な日々に比べむしろ明るい日々だった。「民主主義」という言葉が学校でも、新聞でも、頻繁に使われ、教科書までが民主主義という表紙になった。軍国主義時代の教科書とは無縁な新しい内容だった。夏休み前まで、好戦的な「大日本帝国史観」に基づく授業をしていた先生たちは、まるで掌を返すように「民主主義教育」のエキスパートに変身した。「変身」の理由については沈黙のままだった。

あれから 60 数年。民主主義は「常識」となった。国政だけでなく、小中高レベルの学校教育でも大学でも、「民主主義」は「常識」となり、「民主主義」に反する教育への反発は「本能的」にさえなった。「民主主義」的であるかないかが判断の規準となったのである。「民主主義」的であるためになかなか決まらない議案があったりすると、スパルタ式教育でのように「号令一下」即座に決まる方式にノスタルジアを感じる向きもないではないようだが、長い眼で見るならば、やっぱり民主主義の長所は動かし難い。

原発再稼働、日米同盟強化、改憲に向かう野田新政権との対決

高田　健（許すな！憲法改悪・市民連絡会）

民主党の野田佳彦氏が新首相になった

野田佳彦氏は８月 15 日（財務相＝当時）、首相の靖国参拝に関して、かつての野党時代に提出した質問主意書で「戦犯の名誉は回復されており、『Ａ級戦犯』と呼ばれた人たちは戦争犯罪人ではない」として、首相の靖国神社参拝は問題ないとした認識について「基本的に考えは変わらない」と述べた。この「歴史認識」は中国や韓国など、東アジアの国々から厳しい批判をあびた。その後、野田氏は首相に就任するや「私は政府の立場なので（政府の）答弁書を踏まえて対応したい」（30 日）と軌道修正したが、この靖国参拝に関する発言に、野田という政治家の本質がよく現れている。

今回の代表選に際しての発言など、従来からの野田佳彦氏の政治的主張は、靖国問題をはじめ、①民自公大連立の推進、②財政再建のための消費税増税、③原発再稼働、④日米同盟強化などなど、全体として民主党内のタカ派に位置している。

雑誌『文藝春秋』９月号に野田氏は民主党代表選への政治主張として「わが政権構想～今こそ中庸の政治を」という一文を寄せている。そのなかで野田氏は「与野党の連立政権か閣外協力か、協力の形はともかく」「国全体の統治機能の再構築」の「最大の課題は与野党の協力です」とのべ、「特に自民党、公明党との合意、協力なしに、法案を成立させ、政策を実行するのは非常に困難です」と主張している。そして彼は首相になるや旧政権の「民自公３党合意」の尊重をくりかえし確認している。

野田氏は『文春』論文で、「最大の危機は財政」と言い、「税制抜本改革」を主張し、持論である消費税増税などを正当化している。この論文での言及はないが、国会議員の比例区定数削減（小選挙区 300 のみという）も野田氏の持論だ。

また「原発」については「安全性を徹底的に検証した原発」の再稼働と、原発の輸出の継続を主張、「原発の依存度を減らす方向を

目指しながらも、少なくとも 2030 年までは、一定割合は既存の発電所を活用する、原子力技術を蓄積する」ことを訴えている。

「日米同盟」については、「（日本のみならず）アジア太平洋地域、更には世界の安定と平和のための『国際公共財』」として、今後とも「日米同盟を深める」と強調し、大震災で「米軍と自衛隊の共同オペレーションが成功したことを「大きな成果」とした。特に論文で、中国を「地域における最大の懸念材料」、北朝鮮を「北東アジアにおけるもっとも深刻な不安定要因の一つ」と規定、昨年末の「防衛大綱」の「基盤的防衛力構想」を評価した。また首相就任直後、野田氏は「普天間移設の日米合意継承」を強調した。

憲法に関する野田氏の発言はあまり多くない。この『文春』論文でも触れられていない。しかし、野田は父親が自衛官だったことにしばしば触れ、「防衛相になりたかった」などと語る。2002 年の衆院選の際の野田氏の公約では「一切の侵略戦争を放棄した上で、自衛隊の存在を憲法に明確に位置づけ、有事への対応やシビリアンコントロールに万全を期す」と述べ、第９条に自衛隊を明記する明文改憲を主張した。また 2009 年衆院選の際の「毎日新聞」による「候補者アンケート」では「９条改憲に賛成」「集団的自衛権の行使に関する政府の憲法解釈」の見直しなどを主張しており、北朝鮮に対しては「圧力をかける」を選択している。また自著「民主の敵」（新潮新書、2009 年）では「集団的自衛権の行使は原則として認めるべきだ」と主張、従来の政府の「集団的自衛権に関する憲法解釈の変更」を主張した。

野田新首相のこうした政治主張は、『文春』論文のタイトルの「中庸の政治」、あるいは組閣に際しての「挙党体制」などとのキャッチコピーとは裏腹に、従米・改憲論者の前原誠司氏を新しい政調会長に据えたことと合わせて、極めて危険なものがある。

野田氏の大連立志向は、「ねじれ国会」状態を使って、自民党が自らの政治路線を民主党におしつけようと手ぐすねを引いていることに乗るものであることは見逃せない。すでに７月 20 日、自民党「国家戦略本部」は、同党の中長期的な基本政策をまとめた「日本再興」と題した「報告書」を発表している。これは野田氏の政治主張と多くの部分で重なるものがある。

自民党の「報告書」は東日本大震災からの復興に向け、既存の原発の安全確保と稼働・維持を当面容認し、将来の他の地域の震災にも備えた防災対策に 10 年間で集中的に予算を投入するなどとして従来の公共事業削減方針の転換、消費税率を当面１０％まで引きあげ、学校の式典での国旗掲揚、国歌斉唱の義務化なども明記した。また自民党がここで原発の稼働維持を掲げたことについては、これまでの国の原発政策の責任と合わせて、徹底的に批判されなくてはならない。中でも「従来の外交・安全保障政策の転換」に関する部分は以下のような大きな問題がある。

①強権的で、超憲的な日本版「国家安全保障会議」の常設を主張。 ②従来、違憲としてきた「集団的自衛権」の行使の合憲化。 ③PKO５原則の緩和と、いつでもどこへでも自衛隊を派兵できるための海外派兵恒久法の制定。 ④「非常事態（武力攻撃事態も含む）に際して、国として迅速な対応が可能となるよう我が国の法制度・組織を見直し、憲法を含め必要な整備を行う」として「非常事態法」の法制化。 ⑤「密約」追認の核搭載艦船の寄港容認で非核３原則の破壊、「2.5 原則化」。 ⑥兵器の共同開発促進など日米同盟の深化と武器輸出３原則の緩和。 ⑦この間進めてきた予算縮減をやめ、自衛隊の質・量の強化へ。

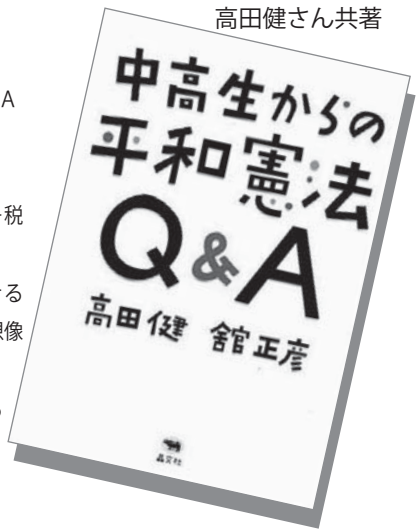
これらの自民党の主張は連立政権または閣外協力の過程で、危険な政治的取引材料となり、野田政権に大きな影響を与えるに違いない。それは民主党が「憲法審査会」規程の制定で、「国会運営に配慮して」ずるずると自民党に引きずり込まれてきた経過を見ればはっきりしているのではないだろうか。

早速、8 月 31 日の衆院議運で民主党が衆参両院の憲法審査会の委員名簿を次期臨時国会に提出すると発言したのもこうした兆候ではないか。

9.19 原発にさようなら集会などの 1000 万人アクションをはじめ、脱原発運動はあたらしい局面をむかえている。野田新政権のもとで、私たちは原発、沖縄、憲法などの諸問題での運動を強め、院外の力を盛り上げて、政治の反動化に対決しなければならないと決意している。

高田健さん共著

新刊書籍案内：
中高生からの平和憲法Q＆A
共著：高田　健・舘　正彦
挿絵：大島史子
Ａ５判 136 頁、定価 1400 円＋税
発行：晶文社
本書帯から：3.11 以降を生きる若者たちに“日本の未来”を想像してもらいたい。
憲法をよく読むと、日本のあるべき姿が見えてくる。



「ディエゴ・ガルシア米軍基地」を考える

田中利幸（広島平和研究所）

８月１日、無数にある米軍海外基地が周辺住民に与えている様々な問題について研究を行っている、極めて数少ないアメリカの若手学者、デビッド・ヴァイン氏が岩国を訪れた。ヴァイン氏は Island of Shame: The Secret History of the US Military Base on Diego Garcia（『恥辱の島：ディエゴ・ガルシア米軍基地の秘められた歴史』、残念ながら邦訳はまだない）の著者であり、ワシントン郊外にあるアメリカン大学人類学部の准教授である。「愛宕山を守る会」の人たちと交流し、地元住民の人たちの生の声を聴き、その後、岩国米軍基地周辺も視察した。それからさらに沖縄に飛び、基地問題に関する学会に出席し、沖縄の米軍基地に関する現地調査も行って、８月下旬に帰国した。これを機会に、私たちもディエゴ・ガルシアの米軍基地について、岩国や沖縄との比較という観点も交えながら、少し考えてみよう。

ディエゴ・ガルシアとは

ディエゴ・ガルシアはインド洋のほぼ中間地点に存在するチャゴス諸島の最南端に位置し、チャゴス諸島の中でも最大のＶ字型を形成している環礁である。環礁全体の面積は 170 平方キロであるが、土地面積そのものは 30 平方キロに満たない。１６世紀初めにポルトガル人が「発見」した無人島で、その時に名付けられた「ディエゴ・ガルシア」という島の名前が今も使われている。１８世紀末になりフランス人がここに入植し始め、モーリシャスやソマリアなどから奴隷労働者を送り込み、ココヤシ栽培とコプラ生産を行うプランテーションを開設。後にインド人、マラヤ人や中国人も労働者として入植するようになる。1814 年ナポレオン戦争でフランスが敗退するや、英国がここを占領し、モーリシャスの一部として植民地化し、統治するようになった。

1968 年にモーリシャスが英国から独立することになったため、1965 年にチャゴス諸島はモーリシャスから切り離され、３百万ポンドという安値で英国がモーリシャスから購入し「英領インド洋地域」とされた。したがって、ディエゴ・ガルシアも引き続き英領とされたわけであるが、翌 66 年末にここをアメリカに 50 年間無償貸与するという合意が英米間で結ばれた。さらにその後、両国が 2014 年になってから合意すれば、さらに「20 年間の貸与延長」が可能となったので、実質的には 2036 年まで無償貸与となるはずである。「無償貸与」の見返りに、英国は 66 年に潜水艦発射用ミサイルであるポラリス・ミサイルの購入に当たり、140 万ドルの値引きをしてもらっている。

アメリカ軍による本格的な基地建設は 1971 年から始まっているが、その前に、この島の住民約２千人を英国政府は島外に移動させなければならなかった。そこで英国政府は、18 世紀末から数世代に渡って暮らしてきた島民を「短期滞在労働者」と称して、何の補償も与えずにモーリシャスなどに強制移住させることにし、彼らが飼っていた犬猫などのペット１千匹ほどを集め、アメリカ軍のトラックの排気ガスを使って全て殺してしまった。複数の民族背景を持つ住民が長年にわたり共に居住してきたことから、この島ではクレオール民族文化と呼ばれる特殊な文化が形成され、学校、病院、教会、さらには鉄道までが建設され繁栄していたのであるが、これが英米両国政府の暴挙により一挙に消滅させられた。これは、戦争状態でなくとも、軍という国家暴力によって一文化が完全に消滅させられる典型的な例である。明らかに違法であるこの強制移住措置については、元住民と英国政府の間で、現在もその補償をめぐって欧州人権裁判所で争われている。

1970 年代、ベトナム戦争での敗北、パキスタンやエチオピアからの退去、カンボジアでのクメール・ルージュ勢力の拡大、ソ連軍のイエメンやソマリアへの進出など、東南アジアとアフリカ北東部の両地域で劣勢を強いられたアメリカ軍にとっては、この両地域の中間点に位置するディエゴ・ガルシアに強力な基地を設置することが態勢挽回を狙う上で極めて重要であった。さらには、1979 年イランにおけるイスラム革命とそれに続くアメリカ大使館人質事件による中東危機、石油確保の不安定な状況などをめぐり、アメリカは中近東での支配力拡大の目的からもディエゴ・ガルシア基地をさらに拡大・強化していった。1980 年からは、「事前配備船」と称する大型輸送船１６隻をこの環礁に停泊させ、大量の武器弾薬、軍用工作機械、医療機器・薬品などを常時これらの船中に配備しておき、いつでも戦闘状態に入れるような態勢をとり、最終的に船舶数は２０隻にまで増やしている。一時期、これらの「事前配備船」の整備は横須賀で行われていたが、その際には、積荷を呉の倉庫に一旦移送し、修理後に再び船に積込んでディエゴ・ガルシアに戻るという手順がとられていた。現在、この「事前配備船」の整備がどこで行われているのかは不明である。

ディエゴ・ガルシア基地は、1986 年に、さらに５億ドルを投入して空海両軍用の施設を大幅に拡充した。現在の配備人員は、米軍兵員１千７百名、民間人雇用者１千５百名、英軍兵員 50 名となっているが、湾岸戦争やイラク戦争のような戦争が起きた場合には、もちろん配備人員は数倍に増加される。そして今や、この基地には、４千メートル近い長さの軍用滑走路があり、空軍はここに B52 爆撃機やステルス爆撃機 B-2 などを配備している。海軍は、空母を含む戦艦３０隻が停泊できる港湾施設を持ち、他にも石油燃料貯蔵施設、核廃棄物貯蔵施設、通信基地、衛星スパイ基地、ショッピング・モール、バー、ゴルフ場などの娯楽施設も備えている。配備されている爆撃機や艦船のタイプから、核兵器が常置されている基地であることは明白である。

つまり、ディエゴ・ガルシア基地は、インド洋にあるアメリカ軍最大の拠点であり、特に中近東に睨みをきかせる軍事戦略上の要衝とされている場所なのである。周知のように、湾岸戦争、アフガニスタン攻撃、イラク戦争の際には、ここから B-52 や B-2 爆撃機が出撃している。また、オバマ大統領は、昨年、この基地に（核弾頭のとりつけ可能な）トマホークミサイルを搭載した原子力潜水艦を結集させており、イギリスの『サンデー・ヘラルド紙』によると、すでに 387 個のバンカー・バスターズもここに運び込まれているとのこと。これは、明らかにイランへの攻撃可能性を考えての上での決定である。

ディエゴ・ガルシア基地は単なる軍事基地であるだけではなく、CIA による、テロ容疑者の人権を無視した第三国での拉致監禁（特例拘置引渡し）作戦においても重要な役割を担っている場所であると言われている。にもかかわらず、皮肉なことに、この基地は、米軍関係者の間では「正義の基地」というニックネームで呼ばれている。テロ容疑者の拉致監禁ないしは拘置引渡し場所として使われているという証言は、米退役陸軍将軍バリー・マカフレイが二度も行っているし、2008 年 7 月にはホワイトハウスのある高官（名前は伏せられている）が、2002 年と 2003 年の間に、確かにそうした場所として使われたとも証言したという情報が流された。アメリカの人権擁護団体リプリーブは、ディエゴ・ガルシア基地近辺に停泊している船舶が、テロ容疑者を監禁し拷問するために使われたとも主張している。沖縄や岩国でもそうだが、米軍基地は、基地のある当地の国内法（ディエゴ・ガルシアの場合は英国法）のみならず、国際法すら通用しない「無法地帯」となっていることを我々は深く認識する必要がある。

、の点でも、沖縄や岩国をはじめ他の米軍基地との共通点がみられる。ディエゴ・ガルシアはホークスビル亀や緑亀の生息地、近海はナガス鯨やザトウ鯨など数種類の鯨の生息地でもあるが、近年これらの亀や鯨の数が激減しており、種類によっては絶滅の恐れがあると言われている。

こうしてディエゴ・ガルシア米軍基地がもたらしている問題を、沖縄や岩国が直面している問題と比較してみると、明確に幾つかの共通点が明らかとなる。それは、

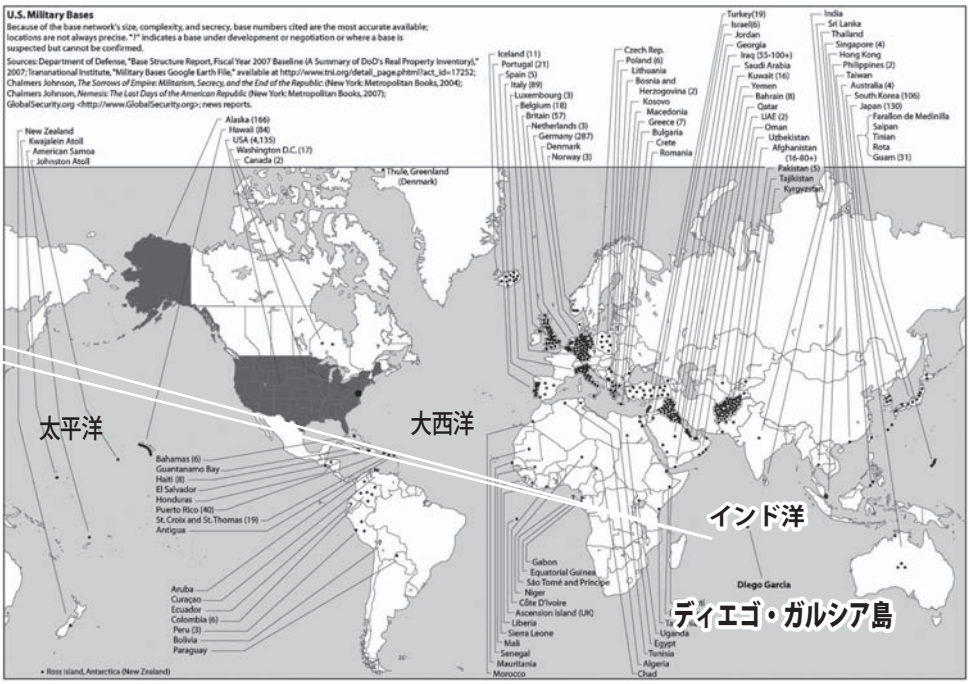
（1）地元住民の人権侵害・人権無視、
（2）それと密接に関連している国内法や国際法無視・違反、
（3）地元文化の破壊、
（4）環境破壊、である。

あらためて言うまでもないことであるが、米軍は海外諸国の住民や環境を守るために自軍を海外に駐留させているのではない。米国の利権と資本を守り、覇権を維持するためにこそ、軍隊を世界各地に配置しているのである。しかも軍隊は暴力で他者を殺傷し支配することが任務であるから、そのような暴力組織に「人権擁護」を期待するのがそもそも間違っている。したがって、軍事基地がもたらしている様々な問題の解決策は、一つしかない。すなわち、それは「基地の完全撤去」である。そのためには、基地周辺の住民の基地反対の声を高めるのみならず、そのような基地を自国民の税金を使ってまで駐留させている自国政府の政策を転換させるために、国民全体のコンセンサスを作り上げる他に道はない。その目的達成は容易ではないが、地道に、しかし効果的な方法をいろいろ模索しながら運動を展開していくことが重要である。

写真提供　大月純子さん

岩国の愛宕山見守りのつどいで熱心に語ってくださったヴァインさんと、通訳をしてくださった田中利幸さん

世界の米軍基地



「さようなら原発 1000 万人アクション」を前に

富山洋子（NPO 法人　日本消費者連盟）

私は、今年の年８月６日の朝を、広島で迎えた。　前日、広島に入り、ハノーバー庭園での「さようなら原発 1000 万人アクションノーモア・ヒロシマ、ノーモア・フクシマ　ヒロシマの集い」に参加、最後に、原爆ドームを参加者一同で、手を繋いで取り囲み、「核兵器も原子力発電もいらない」等、シュプレヒコールを繰り返した。そのあと、私は一人で、元安川の川辺で繰り広げられた演奏を聴いた。墨染め色の暮れなずむ空には、ところどころに茜色が残っていた。幻想的な空の下、私は、涙が込み上げてきた。

６６年前の夏の夜のひと時、もんぺ姿や国防服姿であったにせよ、川辺で涼を取っていた人々の上に広がる空は、どんな色に染められていたのだろうか。人々は、どんな夢路を辿ったのだろうか。　そして、明けて１９４５年８月６日の朝、原爆投下。元安川は、人間筏に満たされて・・・・

「にんげんをかえせ」と詠い上げた　原爆詩人、峠三吉は、この凄まじい殺傷力を持つ原爆の核分裂によるエネルギーを、「朝」という詩で、人民によって薔薇色のエネルギーに転ずる夢を託した。原発は、戦後の日本に薔薇色のエネルギーとして迎えられたのだ。

もとより、原子力エネルギーの利用は、兵器に用いるために開発された。1942 年、エンリコ・フェルミがシカゴ大学の球技場のスタンド下で開発した原子炉第１号は、ウランの核分裂連鎖反応を持続させる実験のための実験炉であり、その後つくられた最初の原子炉は、この世でもっとも毒性が強いと言われるこの猛毒の元素をつくり出すために開発されたのだ。プルトニウムは核兵器の原料になる物質である。

1953 年、アメリカのアイゼンハワーは、国連で原子力の平和利用を提唱。以来、原子力発電の開発が進められてきたが、原子力（核）開発の本来の目的の目くらましであったとも捉えられる。しかし、広島、長崎ですさまじい破壊力を見せた核反応によるエネルギーを発電に利用しようという提唱への支持は、人間のために自然から最大限のものを引き出そうとするおごりから導き出されたのではないだろうか。自然からの収奪を意図した巨大な科学技術は、人間ばかりでなく、あらゆる「いのち」とは共存できない。

3 月 11 日、東日本を襲った大震災に引きついで起きた東京電力福島第一原子力発電所の事故は、犯罪的であるとも言える人災である。原発を推進してきた面々は、想定外という言葉をしばしば発したが、地殻変動を含めて地球の大きな営みの全てを把握することは決してできない。原子力発電所はどこに建てても、大惨事を引き起こす可能性を孕んでおり、とりわけ、地震列島、日本に原子力発電所を建てたことが、犯罪的人災の根本的な原因だ。

私は、東日本大震災・原発震災の大惨事の被災地の方々の、筆舌に尽くせぬ方々のご心労を悼むと同時に、このような大惨事が惹き起こされる前に原発を止められなかった悔しさと、人災をおびきよせた原発を推進してきた面々への怒りに、３月１１日以来、心身がざわめき、平常心を失っている。　更にまた、身土不二という言葉がそくそくと胸に迫り、人間がもたらした災いに、どれだけの生き物のいのちが蝕まれたかと胸が痛み、この心身のざわめきは、自然との関わりにおいて、節度を失った人間への警告のようにも思える。

原子力の開発は、当初から風土に活かされた人々の暮らしとは関わりなく、軍事的、政治的な思惑のもとで、国家と大資本、そしてテクノクラートが結びついて推進されてきた。一部の人々の思惑を共同利益のように見せかけて社会に押しつけるには、大義名分と情報操作が必要である。日本政府は、1954 年、新年度予算として２億円強の原子力開発予算を計上、原子力発電所の建設は、1973 年のいわゆる石油危機を契機として浮上した。当初は、エネルギー危機の救世主として登場してきた原子力発電は、状況の変化に対応して、エネルギーセキュリティ・電源のベストミックス等、大義名分は変わり、近頃では、地球温暖化を防止するためと、喧伝されている。

原子力発電は、エネルギーの３分の１だけが電気になり、３分の２の熱は温排水として海に捨てられる。一基１００万ｋｗ級の出力を持つ原子力発電は、出力調整が難しいので電気の浪費構造をもたらすことにもなる。海暖め装置である上に、エネルギー浪費構造をもたらす原発は、地球温暖化防止に役立たない。今は、さすがにオール電化住宅の宣伝が控えられてはいるが、原発の稼働は常に電気の需要拡大と結びついて進められている。

また、原発がなくても、必要な電気は賄えることは、様々な角度から立証されている。

原子力発電は、差別構造の上でしか成りたたないことも肝に銘じたい。原子力発電は、平常運転時でも働く人の被曝を前提しなければ動かすことはできない。ましてや事故が起きれば、労働者被曝は一層深刻になる。そして、被曝労働は、下請け、孫請けの労働者にしわ寄せされる。東京電力第１原

子力発電所の事故以来、緊急時の措置として、被曝線量限度が１００ｍＳｖから２５０ｍＳｖに引き上げられ、東京電力は、７月１１日、この限度を超えた労働者が６人に達したと発表している。すでに、２人の死者もでていることが報道されているが、いずれも被曝線量は低いと記述されているのは、腑に落ちない。

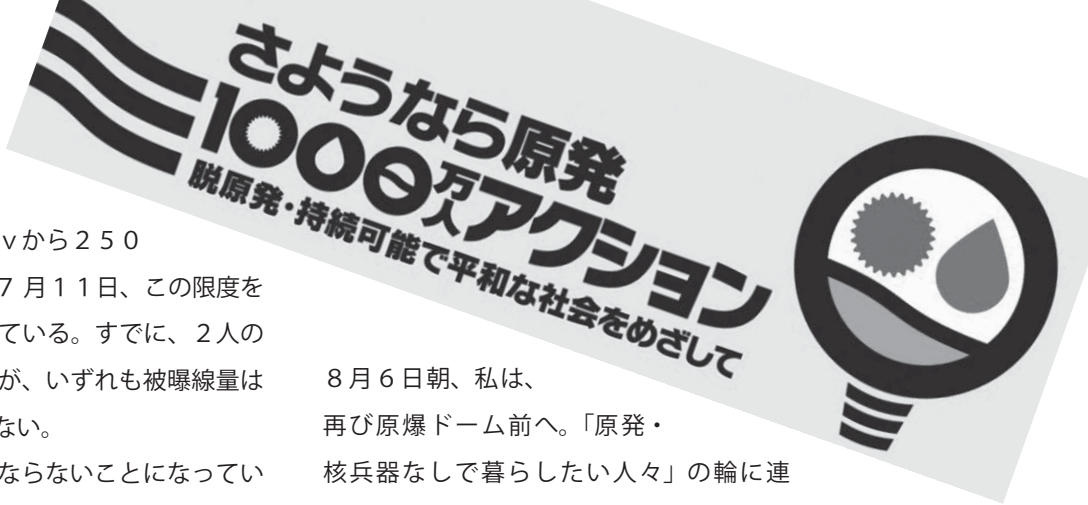
原発は、人口密集地の傍に建ててはならないことになっているので、電気の大消費地、首都圏の電気を供給する東京電力の原発はその管内には一基も建っていない。

この構図は他の地域においても同様である。今は停止しているが、浜岡の原発からの送電線は名古屋に向かっている。人々に海の幸をもたらす豊穣な海を埋めたてて建設されようとしている上関原発の電気は、祝島の人々に向けられるものではない。祝島住民の自立した暮らしは、原発による電気を必要としない。祝島は、上関原発建設予定地から４ｋｍの位置にあり、中国電力が 1982 年（？）に原発立地を山口県の瀬戸内海に面した上関町に中国電力が持ち込んで以来、９０％に及ぶ住民が原発に反対。原発を建てるための豊かな海の埋め立工事を阻止する等、果敢な行動を、息長く展開している。現在、祝島では、自前の電気を創出する動きもあるという。

環境に放出した放射能は、大人より子どもへ、子どもより胎児へより強く影響することも忘れてはならない。

極めつきは、死の灰（高レベル放射性廃棄物）を埋め捨て（地層処分）にして、将来の世代へ負の遺産として残していくことだ。私たちが原発による電気を使えば、この厄介きわまりない負の遺産を日々増やしていくことになるとの認識を、私たちはしっかりと共有すべきである。この負担をできるだけ少なくするためには、まず、負の遺産を生みだす原子力発電をやめることだ。どうすれば最も危険の少ない処分ができるのか、研究を進めながら、より適切な場所と管理の方法を知恵をしぼつていくことが大切である。

フィンランドにつくられつつある「オンカロ」は、現在は、世界で只ひとつの、放射性廃棄物の地下処分場の予定地である。工事は 2004 年に始まり、操業開始は、2020 年、100 年後の 2120 まで使用する予定だ。その後、厳重に封鎖されるが、１０万年後までの安全を見込んでいるという。原発を運転すると死の灰（高レベル放射性廃棄物）とプルトニウムが生成される。長短様々な半減期を持つ放射性物質の後始末は、実に厄介で、これらの放射能の害を無視してよい状態になるまで、きちんと保管・管理する必要があり、ヨーロッパでは、この期間を１０万年とみなしているのだ。



８月６日朝、私は、再び原爆ドーム前へ。「原発・核兵器なしで暮らしたい人々」の輪に連なった。「2011 年　みんなの平和宣言」を共有した後、「ＮＯ　ＭＯＲＥ　ヒバクシャ　みんなでウォーク」に加わり、中国電力本社を包囲、上関原発建設中止を求めた。

１０万年経なければ、安全とは言えない隠された場所を未来へ残していくのか、例えば祝島の人々が守り抜こうとしている、多様ないのちが育まれる豊穣な海をそのままに、未来に手渡していくのか、今、社会を構成している私たち一人ひとりに問われている。

1000 万人が動けば社会は変えられる。「さようなら原発 1000 万人アクション」では、1000 万人署名を始めている。９月１９日には、明治公園で「さようなら原発集会」を開催する。共に、脱原発の大きなうねりを巻き起こし、原発を止めていこう。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

さようなら原発　講演会

９月８日（木）18:30 ～　日本青年館大ホール　参加費　500 円

ピアノ演奏　崔善愛（チェ・ソンエ）さん
詩の朗読　落合恵子さん
お話し　内橋克人さん　大江健三郎さん
鎌田慧さん　澤地久枝さん

～この間、東京では様々な催しがあり、
全国各地でも呼応して行われるようです～

さようなら原発　５万人集会

９月１９日（月・敬老の日）　明治公園

13：00 ～ライブ　13：30 ～集会　14：15 ～パレード

◆オープニングライブ　寿

◆発言　落合恵子さん　大江健三郎さん　内橋克人さん
鎌田慧さん　山本太郎さん
武藤類子さん（ハイロアクション福島原発 40 年実行委員会）
ドイツからのゲスト

◆パレードは、３コースに分かれて行います。
手製のプラカード、楽器の演奏、仮装など大歓迎です。

◆主催　「さようなら原発」一千万人署名市民の会

２０１１中学校教科書採択状況について

山川　滋（教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま）

■　はじめに

各採択区教育委員会は 8 月末までに文科省に中学校教科書採択結果を報告することになっている。この原稿を書いている 8 月 28 日時点では、焦点になっている沖縄県八重山採択区の混乱が深まっている。および全国の多くの採択区、そして広島県内全２１採択区の採択結果は公表されていない。しかし、判明した結果だけみても育鵬社の採択が非常に増えていることが分かる。（※９／２現在県内で尾道市教委が育鵬社歴史教科書、呉市教委が育鵬社歴史･公民教科書を採択したことが判明した。）これまで、「扶桑社」=「つくる会（新しい歴史教科書をつくる会）」だったが、数年前に「つくる会」は内紛により分裂した。「つくる会」は自由社から、「日本教育再生機構（教科書改善の会）」は育鵬社（扶桑社出資の教科書専門出版社）からそれぞれ歴史・公民教科書を出版している。

2009 年度の端境期（2 年間だけの使用のため）の中学校教科書採択時に検定を受けたつくる会系の教科書会社は､「扶桑社」と「自由社」であった。そのときのつくる会系教科書の採択状況は次の通りであった。

2001 年度から継続採択：愛媛県立養護学校、東京都特別支援学校
2002 年度から継続採択：愛媛県中高一貫校
2004 年度から継続採択：東京都中高一貫校
2005 年度から継続採択：栃木県大田原市、東京都杉並区
2009 年度新採択：愛媛県今治市、横浜市８行政区
※2005 年度採択の滋賀県河瀬中高一貫校は 2009 年度扶桑社から他社へ採択替えをした。
今年度の採択状況（９月２日現在）を下記に整理した。

★2011 年度新規つくる会系採択地区 ◎採択替え　？現時点で不明（危険な地区）

栃木県太田原市	歴史・公民：育鵬社	賛成４人、反対１人、調査委員会の報告は育鵬社で、採択協議会も全員一致で育鵬社
東京都教育委員会都立中学校・都立中等教育学校（前期課程）	歴史・公民：育鵬社	都内の中高一貫校は 10 校（１学年は約 1500 名）
東京都教育委員会聴覚特別支援学校・肢体不自由・病弱特別支援学校	歴史：育鵬 公民：自由	20 校・今年度約 100 名
★神奈川県藤沢市	歴史・公民：育鵬社	藤沢市の中学校は 19 校、約 3400 名（1 学年）19 校 64 人の教員から一つも推薦はなかった
★神奈川県立平塚中等教育学校	歴史：育鵬社	1 学年約 160 名、当該校の校長が育鵬社版を希望
神奈川県横浜市	歴史・公民：育鵬社	148 校、来年度新 1 年生は約 27000 人　6 人中 4 人が育鵬に投票
★東京都大田区	歴史・公民：育鵬社	28 校、１学年約 3500 人。歴史 6 人中 5 人、公民は 4 人が賛成
★東京都武蔵村山市	歴史・公民：育鵬社	5 校、１学年は約 650 人
★大阪府東大阪市	公民：育鵬社	
◎東京都杉並区	歴史・公民：帝国	扶桑社から採択替えをした
★埼玉県立伊奈学園中学校	歴史・公民：育鵬社	
愛媛県中高一貫校３校	歴史・公民：育鵬社	
愛媛県特別支援学校	歴史・公民：育鵬社	
今治市	歴史・公民：育鵬社	
★四国中央市	歴史・公民：育鵬社	
愛媛県上島町	歴史・公民：育鵬社	
★香川県立高松北中学校	歴史・公民：育鵬社	約１２０人
★尾道市	公民：育鵬社	１９校約１２００人
★呉市	歴史・公民：育鵬社	
★岩国市	歴史：育鵬社	１７校で約１４００人
★島根県益田地区	歴史：育鵬社	
？沖縄県八重山採択区		

■ なぜつくる会系教科書の採択が増えたのか？

（１）自民党通達による全国議会における教科書採択に対する不当な介入がおこなわれた

自民党は全国都道府県支部連合会幹事長にあてて、２月及び６月議会にむけて２度の教科書問題の通達「平成 23 年夏の中学校教科書採択への取り組み（要請）」と「指針」や「議会質問案」や「決議文案」などを出した。その結果多数の地方議会で「自衛隊を肯定し拉致問題を人権問題として扱い領土問題を主権侵害として教えるもの」「二宮尊徳や神話を教えるもの」「教育基本法と学習指導要領の趣旨をもっとも反映されたもの」「教職員の絞り込みや序列化をさせず教育委員の権限で採択すること」「外部からの不

当な働きかけをさせないこと」などの質疑や議会決議が多数あげられた。これらの項目は全てつくる会系の教科書の特徴ばかりである。その影響を受けた教育委員会では、現場の教員がそれぞれの地域の実態に合わせた内容を綿密に調査した資料を無視し、議会の意志＝多数の市民の意志と勘違いして、子どもや学校の実態からかけ離れた自民党の希望通りの教科書を採択したのである。巧妙な政治の介入であり、不当な圧力の行使である。

（2）改悪教育基本法、学習指導要領の拘束を歪め悪用した

おそらく、全ての採択区の採択基本方針に「教育基本法、学習指導要領に即した」教科書を採択することが記述されていると考えられる。しかし、検定自体がどの教科書も即しているから合格させたのであるから、さらに地方での採択で「もっとも即した教科書」を選別する必要はないのである。しかし、彼らが使いたいのは改悪教基法の「愛国心＝領土ナショナリズム、国益重視、近隣諸国軽視、自衛隊尊重、日の丸君が代強制、在日マイノリティーの軽視、拉致問題重視等」「道徳心＝権利より義務の履行強制、公共の福祉重視、国策重視等」の部分であり、改悪の方向性を極端に表現しているのがつくる会系教科書であるのは言うまでもない。したがって、「もっとも即した」としてつくる会系の評価を高め、採択させていくのが彼らのねらいである。しかし、従来の教科書調査資料や選定資料作業では、もう既に国レベルのチェック（検定）は済んでいるのだから観点や視点に教基法の内容等を評価せずに、地域地域の子どもたちに必要な観点・視点で評価してきた。それではつくる会系教科書の評価は高くならないので、強引に彼らの示す教基法の観点を強引にゆがめて入れ込んだところが増えている。

例えば、東大阪市の場合、教育研究会（選定委員会）報告は、育鵬社の共同事業者である日本教育再生機構が、育鵬社版の宣伝と他社批判に使っていた内容、つまり①天皇の役割、②平和主義・自衛隊、③拉致問題、④領土問題、を意図的にとりだし、育鵬社と他の２社（日文・東書）との違いを浮き彫りにする評価を答申していたのである。これでは、育鵬社を高評価するためのやらせの評価と言わざるを得ない。他の教科書に比べて誤記述が圧倒的に多い教科書を、その教科書「売り」の部分だけを他社と比較して評価する手法はあまりにも露骨な違法行為である。

（3） つくる会系教科書を採択するために密室で採択手続きを変更したこと

戦後教育委員会制度のもとで運用されてきた教科書採択制度は、戦前の国定教科書（＝国が戦争に使う臣民をつくる目的で作成された教科書）を反省してつくられた、教育に政治が不当に介入することを防ぐための制度である。具体的には、まず市民が選挙で選んだ市長が教育委員を選び、議会が承認することから始まる。教育委員は議会や行政から独立して、教育委員会事務局と連携して行政区の教育を進めていくのである。教科書の採択手順も決められている。おおざっぱに言えば教育委員会が指名した、教科教育に堪能な教科書調査員が採択区の教科書採択方針に基づいた観点や視点で教科ごとに綿密に調べ、詳細な比較検討資料を作成するのである。そして選定委員会で調査資料を基に順位や評価表を作成し、採択資料をつくるのである。つまり、教科書採択作業は教科指導に堪能ではない素人の教育委員が数人で行える作業ではなく、現場の教員や指導主事や管理職や教育に関心のある一般市民がそれぞれの能力や特性を生かして共同作業として子どもに適切な教科書を選んでいく手間暇のかかる民主主義を絵に描いた仕事なのである。文科省の通知には確かに「教育委員の責任と権限で採択する」とあるが、決して多くの人々の知識と経験の染みこんだ調査研究資料を無視して、教科書理解の不十分な教育委員が勝手に好みや自分の主義主張で選んでよいというものではないのである。

しかし、自民党や日本会議やつくる会は民主主義を切り捨てて、彼らの言うとおりになる教育委員の「責任と権限で採択」をするように通知を出し、議会決議で圧力をかけ今年度の育鵬社採択を実現してきたのである。自民党は教育委員会制度という民主主義を破壊しているのである。そして自民党は教育への政治の介入を巧妙に公然と正当化しようとしているのである。

■まとめとして

以上の考察の中で「通知」を出したのは自民党だと書いた。それは事実だが、このような策動をしているのは自民党だけではなく民主党なども含めた保守勢力の元締めである日本会議が指令本部なのである。今回の育鵬社版採択がこれまで以上になった背景の一つは日本会議が育鵬社に教科書を作らせ、日本会議国会議員懇談会の幹事である鈴木寛文科副大臣と同会の会員である笠浩史文科政務官が巧妙に検定と採択で育鵬社に不利な事態が生じさせないように文科省と全国の教育委員会の官僚に影響力を行使していたことなのだと考えることができる。

こうした中央での動きに合わせて、日本会議地方議員連盟に所属している県議会議員と市町村議会議員とがそれぞれの議会で育鵬社の教科書を採択するようにとの意見書や請願などを次々と議決・採択をしたのだ。そしてこのような動きを全国各地で支えたのが日本会議の各県本部と各地の支部である。つまり、教科書行政が日本会議に強い圧力をかけられているのである。私たちがつくる会系の教科書を生徒に渡さないようにさせることは単に教育だけの問題ではなく、これからの日本をこのような政治的目標を持つ組織の言いなりにさせてしまうのを防ぐこと、つまり民主主義を守ることであり民主主義の社会を自分たちの手で作っていくことでもあるのだと考えている。

（2011 年 9 月 2 日）

広島県９条の会ネットワーク交流会（尾道）

写真提供：見伸吾さん

石口俊一（広島県９条の会ネットワーク事務局長）

１　はじめに

この間、懸案であった県内の九条の会の交流会を、８月２０日、尾道市の公会堂別館で開催することができました。

これまで、ネットワークでは、毎月、広島市の平和資料館地下の会議室で、５から１０位の九条の会の方々が集まる、事務局交流会を開いてきました。そこでは、憲法を巡る情勢の話、お互いの活動の様子の話や悩み、これからの集まりの情報交換などを行います。そして、その内容や、今後の集会、学習会の案内などを、毎月、私の事務所から県内の各九条の会へ向けて、郵送、ＦＡＸ、メール送信しています。

しかし、平日の夜の開催なので、県北部や県東部などからの参加は難しく、以前からもっと多くの会の参加ができる交流会を！という意見がありましたので、広島市以外での開催を検討していました。そこで、毎月９日に例会を開いている「九条の会おのみち」の方々に相談して、県東部の皆さんが参加しやすい交流会を尾道市で開く方向で検討していました。その際、できれば沢山の方が集まる憲法講演会もセットにできればと話していたところ、８月２０日の午後から、尾道の実行委員会が京大原子炉研究所・小出裕章氏の講演を準備されていたので、当日の午前中を交流会、午後からは講演に参加という組み合わせとなりました。

２　尾道まで

地元の「九条の会おのみち」の方々には、午後からの講演会の準備も重なる中、会場の確保、準備をしていただき、県内各地からは列車、バス、自動車などで尾道市へ駆けつけました。私や広島からのメンバーは、朝７時過ぎのＪＲ列車に乗って、約１時間半、朝ご飯を食べながらワイワイガヤガヤと話をして、まるで青春１８キップ旅行のような雰囲気で尾道市へ向かいました。駅から徒歩で商店街を歩いて公会堂へ行き、地元の皆さんと一緒に会場の準備等を行う中、呉線で着いた利元さんが交流会資料を持参して、開催となりました。

３　全体会

全体会には、県内各地から約60名が参加しました。司会は、「第九条の会ヒロシマ」の藤井さん。最初に、地元尾道の原田さんが挨拶され、それから、県北、三原、呉、女性、マスコミなどの各会から、短い時間でしたが、日頃の活動の報告してもらいました。中でも、マスコミ九条の会は、隔月にニュースを発行して、県内各地での活動の様子や集会、学習会などの案内も掲載しているので、皆さんからの情報の提供を呼びかけました。

次に、基調報告として、私が、昨年１２月に発表された新防衛大綱が自衛隊のアジア太平洋地域への自由な出動態勢を意図していること、東北地方の大震災、原発事故の米軍の救援活動が救援だけの趣旨ではないこと、このような九条そのものの改変とは別の事実上の改変が自衛隊の海外基地設置等の動きとともに進められていること説明しました。そして、４月、５月には改憲を推進しようという人たちが揃って憲法９６条（憲法の改正条項）の変更を声高に言い募り、６月には超党派で２００人余の議員連盟を立ち上げ、総議員の３分の２による憲法改正発議が、過半数の賛成で可能になる改正を、年内にもと目指す危険な動きがあることも話しました。（既に、２００７年頃に国会法が改正され、憲法改正案は衆議院では１００人、参議院では５０人の賛成で提案できるので、改憲を言う議員が多数を占める国会情勢の中では、極めて現実的な危険性があります。また、参議院の比例定数の削減を狙う動きや、鳥取に比べて東京は０・２票なので投票権の１票の価値の是正を訴える運動は、地域を切り捨てにしてしまう危険も孕んでいますとともに、９６条改正の動きと連動している節もあります）。かつての安倍政権の時のような明文改憲との対決という緊張感が薄れている現状を変えていく必要があること、もっと草の根での活動を広げて、地域や生存そのものに関わる原発の運転を止めさせる活動や、労働や社会保障の現場での生存権実現、保障の運動との連携を進めようと訴えました。

４　分散会

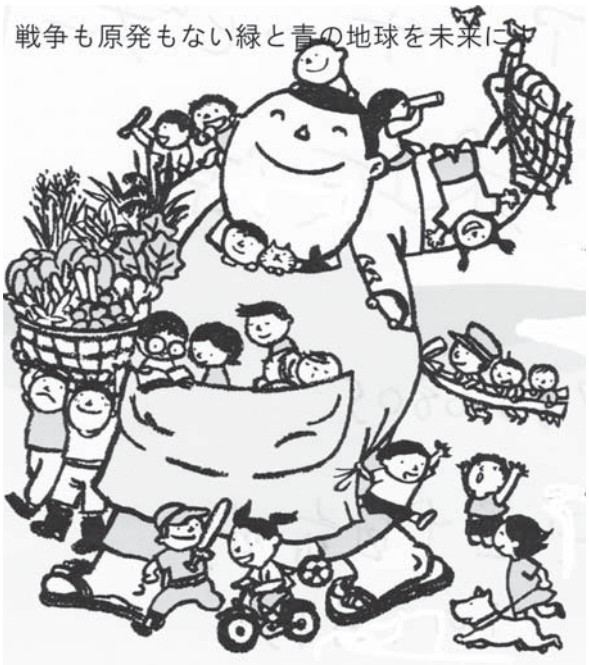
全体会の後、参加者が全員発言できるように、３つの分散会に別れて、情報や意見の交換をしました。その内容は、後日まとめて各会へ報告する予定ですが、私が参加した分散会では、会の活動を支える財政問題の悩み（会員を繋ぐ会報が出せない、手元が２万円を切った）、原発反対運動との連携の様子、世話人の高齢化の悩み、例会を粘り強く定期的開催している活動、戦争体験の冊子の発行のことなどが話されました。

また、別の分散会では、９条だけではなく、環境問題、原発問題などいろいろなテーマによる広がり、子どもが大事にしてもらうことと９条の共通性、マスコミ九条の会の機関紙は情報源として役立っている、高齢化の悩みはあるが若返りを期待し再出発をしたい、会場はお寺と教会で、会員に語ってもらう講師になってもらう、会としてというよりは、それぞれが広げることが重要、地域での生活と９条をどう結びつけて考えるかが課題、物を作りバザー等楽しくすることは続ける秘訣など、各会の様々な意見や特徴を聞くこともできました。

今後も県北、呉、県西部などでの交流会を具体化して、ネットワークの網の目をもと広げていきたいと考えています。

8.6 新聞意見広告 2011 今年も掲載できました!!

ご協力ありがとうございました。



今年は、８月６日朝日新聞朝刊大阪本社版（近畿地方、北陸、中国４県、四国地方）に 15 段　朝日新聞東京都心版＋山口県全域に５段を掲載することができました。２月から半年間、育ててきた意見広告ですが、多くの皆さん、多くのグループの方々が協力してくださったからこそ掲載できたこと、世話人一同、心より感謝申し上げます。

「子どもはおとなが守らんとイケンよね」。

広島弁のこのタイトルが、お分かりいただけるのかな？とちょっと心配でした。福島の人たち、とりわけ子どもたちのヒバクが心配で「子どもの命を守りたい！」という思いから生まれてきた言葉です。そして「自然は子孫からの預かりもの」。大切にして譲り渡したい。ですからサブタイトルは「戦争も原発もない、緑と青の地球を未来へ」とし、イラストもこのテーマに合せて石岡真由海さんに描いて頂きました。そして賛同者の方々から送られた様々なメッセージを掲載させて頂きました。すべてのメッセージが掲載できなかったことはとっても残念だったので、この会報に掲載しています。（13 ページ）

東北の復旧、復興、原発事故の収束が急がれる今、市民が改憲を優先せよというでしょうか。今政治がすべきことは憲法の精神に立ち戻り、人々の生きる権利を保障し、命を守ること！　そのために上関や辺野古のように人々が声をあげ、力を合わせて行動することの大切さを訴えようと考えました。

8.6 早朝から原爆ドーム前配布

意見広告面のコピーを 3000 枚、朝 6 時半か原爆ドーム付近で、ヒロシマに来てくださった人々に配布しました。今年は、8・6 新聞意見広告と一緒に、毎年出してきた「8・6 ヒロシマ平和へのつどい」の「市民による平和宣言」、「みんなでウォーク」のメンバーで考えた「みんなの平和宣言」をセットして配布しました。

8.6 の朝、早々に意見広告を見て電話がありました。「心に思っていることが分かりやすく詩のように書いてあって、そうだそうだと力強く読みました。」「原発や米軍に多くのお金が使われているんですね。悔しい…」など思いを共有でき、頑張って下さいと激励をしてくださいました。9 条を忘れていないか、名前が小さすぎるなどお叱りもいただきました。世話人でしっかりと受け止め、今後の参考にさせて頂きます。しかし改憲をストップさせるのは市民の力です。命、人権を尊重する憲法を変えさせないために小さな力を合わせれば大きな力になります。紙面をご覧になって、ご感想、ご意見など、お寄せいただければ幸いです。（藤井純子）

私たちは、意見広告が掲載される 8・6 のその時適切なものにするため、長い時間意見を交わし作りあげていきます。今起っている政治や社会情勢を把握しながら憲法を根底において吟味していきますが、今回は 3 ／ 11 に受けた衝撃が私たちをより慎重にし、訴えていくにはどんな言葉が必要か深く考えさせられました。

（島村眞知子）

紙面つくりに関わった者として、身辺のいわゆる高齢の方々から、今年の 8.6 新聞意見広告の感想をお聞きしました。自らの反省を込めつつご報告します。①コピーでは名前が見つけられたけれど、新聞は真っ白でないのでわかりにくかった。②名前の途中に、㋐とか、㋕とか入れて欲しかった。 ③大震災に引きずられて、九条が控えめだったような気がする。

貴重なご指摘に感謝します。①、②は技術的なことなので、来年は工夫できると思います。③については、事態の変化や新しい情報の発信もあり、6 月頃からメッセージやイラストを何度も練りましたが、そう感じられる紙面だったかもしれません。お褒めの言葉も嬉しいのですが、忌憚のない建設的なご意見は「ドキッ」としつつ、でもしっかり耳を傾けてより良いものを作っていかなければと思わされます。「継続」していくために来年もご賛同くださったらと心から願っています。　（西浦紘子）

今年の意見広告は一昨年の天がける地球とリボンの図に対応して大地の恵みと人の営みを表現している。子どもたちが屈託なく頼れる大男にまとわり ついている図は 3/11 以後の福島や三陸の子どもたちにはいまや夢幻になってしまった。政治の世界は権力争いが続き、現地の大人たちも子どもを守るどころか自分たちの生存さえもおぼつかない。それでも全世界が目覚めて一人一人がアンパンマンのごとく同胞にたいして我が身を差し出せば道が開けるだろう。　（岡本珠代）

今年は、122 のメッセージが寄せられました（別掲）。特筆したいのは、フクシマの事態を受けて、原発、核について訴えるものが半数近くにも上ったことです。九条や戦争にも増して原発への人々の危機意識が高まっていることを示しています。残念なのは、意見広告の賛同金の総額が昨年、1 昨年より減少し、赤字が昨年よりやや膨らんだことです。賛同者数は昨年とほとんど変わりませんから 1 件当たりの平均額が減少したものです。昨今の厳しい経済事情が賛同者の皆さんの財布の紐を締めているのでしょうか。来年はどう対応したものか。難問です。　（佐々木孝）

電話や FAX, メールで様々なご感想やご意見を頂きました。
全部は掲載できませんが、電話の場合は、丁寧にお答えして、いい対話になったように思います

・新聞購読者　ハガキ
「天災が生まれ変われと呼びかける　軍隊改編人民救助隊」
朝日も 5.6 に書き留めています。皆様のご健勝を！京の戦中派

購読者からの電話（どの方とも結構長く話しました）

・とてもいい意見広告を有難う。
・日ごろから自分が思っていることを書いてあって嬉しい。
・あのイラストはタイトルとあっていてとってもいいですね。
・良い意見広告をありがとう。同じ思いです。頑張って下さい。
・詩のようになっていてとても読みやすく、視点がよい。
・改憲の動きがよくわかりました。ありがとう。
・原発や米軍に多くのお金が使われているんですね。
分り易いです。でも悔しい・・・
・あの微笑ましいイラストはとてもよかった。大人がしっかり考えなければいけませんね。（そう思って頂けると嬉しいです。
大人には子ども＝未来に対 して責任がありますね・・・）
・なぜ、９条の英文があるのか？
（9条は､非戦を世界に宣言をしたものです。ハングルや中国語、ロシア語を掲載したこともありますが、紙面の都合上、今年は英語だけにしました。9 条は、日本だけではなく、多くの国が軍隊の無い国になってほしいから・・・）

・９条は大切だ。しかし現実は自衛隊は軍隊になっているのでは？
（自衛隊は確かに防衛には行き過ぎた強力な装備となってきたが憲法があるので決して武力行使はできない。規範力は厳然として大きい。だから好戦的な人が憲法を変えようとしている。）

・９条については賛成も反対もいる・・・（あなたは？　と聞いても自分の考えは言われませんでした。が、私たちは、9 条＝非軍事は本当の平和を創るために重要な考え方です。とりわけ中国など近隣のアジアの人々に対して軍隊を持ち、武力行使をしては信頼は得られません・・・　）

・何故小さな名前が並べてあるのか？
（平和憲法を変えて戦争をする国にしてほしくないと 8・6 新聞意見広告に賛同して下さった方々のお名前で、多くの賛同があって嬉しく思っています・・・）

・共産党か？　社会党か？　（政党とは関係がありません。個人個人が改憲を止めようと集まって活動しています・・・）

購読者からのメール
・拝啓　真摯な内容であっても、広告はまず大衆の目を惹かねばなりません。　小泉がマスコミを動員し、狡猾に大衆を操作したやり方を思い出して下さい。また、選挙時の新聞 PR を覚えておられますか？ 片や、見えないような小さな名前を並べて、庶民が読むとお考えでしょうか。相手は思うでしょう、こんな広告ならコワくない、と・・辛過ぎてすみません　。
敬具 /　　神戸市長田区　元書店員

・紙面を読みました！まさに同感です・先日国際平和会議か何か憲法９条を守る立場の女優…吉永小百合さんが堂々と意見を述べた！　〓との記事を読み…大女優である前に゛一人の日本国民゛として「世界中から核兵器と原子力発電所が無くなって欲しい！」と力説された旨を読み大変感動した次第です！
今度の東北大震災は本当に多くの事を私達に問いかけた震災でした！ 夕べのＮＨＫで放送されたテレビ番組を見て…その国の重要な問題こそ一部の政治家等に任せる事無く…国民一人一人が関心を持ち続け監視して行かなければならない…と考えさせられました！
ＮＨＫも最近は私達国民の目線に近づいて来たなぁ…と感じたのは私だけでしょうか…? これからも世界に誇れる「憲法９条」を守り続けて行きましょう！　　yumi-kosumosu

・新聞購読者
「朝日新聞の意見広告を読ませて頂きました。憲法９条、25 条を暮らしに生かす政治が求められています。改憲の動きなど絶対に許さない為にご一緒にがんばりましょう。」 大阪ＳＹ

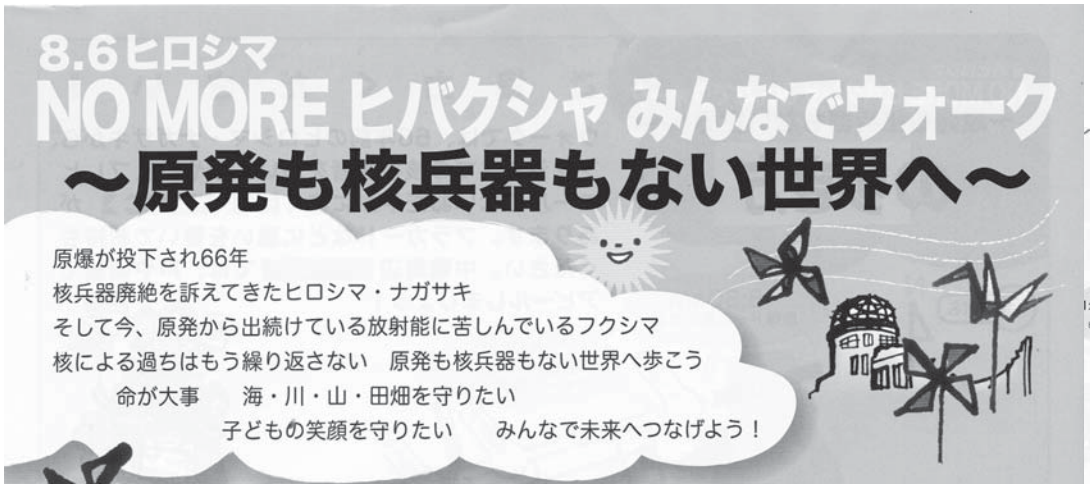
賛同者からのメール
8･6 新聞意見広告 2011 コピーの送付ありがとうございました。心に思っていることが分かり易いこと杯で明記されていて「そうだそうだ」と力強く読ませて頂きました。「思いやり予算」にクレームをつける朝日新聞広告局とのやり取りにも驚かされます。なるべく言葉を囲い込んで民衆の口に上らせたくないのでしょうか？！　ところで毎年自分の名前を見つけては連隊の喜びを味わっていますが、今年は小さくて見つけられません。ここにあるよとお示しいただけると有難いです。　ＯＫ

呼びかけ人からのメール
・今年のイラストはとてもいいです。
朝日の東京版の意見広告見ました。ありがとうございます。東京は 5 段なので、名前の字はほとんど見えません。今度からなくてもいいかなあ等とも思いました。載ってないから怒る人もいないだろうって。とにかく、お疲れさまでした。　ＴＫ

皆さんからのメッセージ

守ろう九条　守ろう命　戸野寿美江　広島県
９条は世界の宝！　吉光成美　広島県
昨年より地元の『憲法の集い』に参加しています。　小林けさ子　東京都
福島の様に世界をしてはならない！！　中島一　岡山県
①今起こっていることを　周りの人と話し合ってみよう
②破壊は一瞬。守れる命と生活。　當田英明　広島県
争いも差別も貧困もない世界の為に９条の精神を
全世界に広めよう！　桐澤哲郎　広島県
憲法、一章の問題もありますが、『国家の理念』として、
変えずに解釈変更も引き戻して行きたい　千葉浩之　山口県
8.6 ヒロシマ、8.9 ナガサキ、3.11 フクシマを忘れるな。　岡村達郎　大阪府
被爆をなくし、被曝もなくさねば。今年の 8/6、
日本はどうなっているのでしょうか。　新藤知樹　東京都
市民のための震災復興を実現するためにも、
九条を守り生かそう！　合掌　日本山妙法寺武田隆雄　東京都
九条は希望　実現する希望　消すことができません　坂健二　奈良県
原発も核兵器もいらない平和な暮らし　栗木黛子　東京都
武力放棄は核放棄。核とは原子力のことなり。　古屋敷一葉　兵庫県
すべての人が 生命の安心安全で 生きれる日々が大切です。　高磨眞佐子　広島県
世界中の人々が、どんなに核を恐れているか。
決して私たちは健忘症になってはならない　奥下厚子　香川県
戦争や核のない　美しい緑と青の地球を未来へ　森田留美　大阪府
戦争はキライです　坂本文夫・裕子　東京都
殺さない、殺させない、殺されない。
９条の、私たちの意志です。　網本えり子　広島県
美しい地球を子どもたちに　らぶ・あーす・ネット広島　広島県
反原発で安全を！反基地で平和を！
もう一度価値観の点検をしよう！　岩村幸子　東京都
私たちは取り返しのつかないあやまちを犯してしまいました。
再びのあやまちがあってはなりません。　沖道子　埼玉県
９条は日本の宝。絶対守らないと！世界に平和を！　鈴木恵美子　東京都
核の恐ろしさを決して忘れてはいけません。　（匿名）　京都府
戦争している場合じゃない！世界の皆へ！　冨満宮子　宮崎県
核・原発ごめん。子どもの未来を守ろう！　渡口差知子　大阪府
生きているあいだに。どうしても。
安全で，平和な地球を実現を！！　クケタヤスヒコ　広島県
介護中心の日々で，集会などへの出席は無理ですが，
志は同じに保持しています。　中西トク子　茨城
憲法の活きる社会を　（匿名）　福岡県
原爆投下の恐怖を再現し，現在，将来にわたり
人々の生活を破壊する原発に絶対反対！　岩本恵子　広島県
核、原発やめて９条実現！　梶原義行　兵庫県
ノーモアヒロシマ　ノーモアナガサキ　ノーモアフクシマ　服部昌男　北海道
三たび許すまじ原爆を、この歌をしきりに想い出しその三たびが
原発事故に―恥かしい限りです。絶対に許せません！！　古澤久美子　東京都
子どもたちに安全で平和な未来を！　田中美智子　千葉県
９条は日本の誇り。日本人のつよみ！　大久保祥子　大阪府
今こそ全ての命が核の脅威から解放される時、力を結集しよう！！
笠原久幸・美恵子　広島県
原発被害は戦争被害に共通する面があるように感じられます。佐藤節男　神奈川
棄権せず護憲の人を選ぼう！　藤澤千代子　埼玉県
あらゆる核の廃絶のための持続する志を！！
被爆・被曝はもうこりごりです　諸橋泰樹　東京都
生存権？脱原発・９条死守・核廃絶　木林佐和子　東京都
戦争が最大の殺人行為、最上の人権侵害　荒木健次　三重県
地球に核は要らない！　松井淳子・松井聖伸　広島県
大政翼賛会はいや！　憲法を活かして生活再建を！
どさくさにまぎれて増税するな！　吉村りよみ　千葉県
やり続けるのみ　小川桂子　神奈川
どこにも米軍基地はいらない　どこにも原発はいらない。　山下董　鳥取県
柏崎刈羽，原発訴訟は，東京高裁で H19 年 11 月 22 日，判決チェルノブイリ事故
のような大事故が発生するとは認められないと退けた。
ごまかし裁判やり直せ。　相田邦夫　新潟県
ヒロシマ・ナガサキフクシマ　今こそ９条　藤井英二　広島県
世界に広げよう九条の輪　吉原美玲子　広島県

原発も戦争も市民は？を持って居た。ただ情報が少なかった。
権力側の発信は疑って見て丁度良い。無用心はダメです。日置勳　大阪府
憲法９条平和の力　黒田幸夫　宮城県
すべての原発を地球からなくそう！！　椿啓子　大阪府
藤田祐幸氏作成の最大電力推移のグラフは，原発廃炉に，
有効な打撃になると思う。　大久保敏明　愛知県
世界平和の宝　第９条を断固守ろう　坂本秀行・坂本郁子　千葉県
そんなに戦争がしたいですか！　坂井章・坂井記美子　広島県
武器で平和は守れない。　樽美政恵　大阪府
殺しも殺されもしない世界を。　太田稔　三重県
名前がのればより小さい字がたくさんの人たちにふれます。
名前の字は小さく志は大きく　佐藤尚子　奈良県
原発も核兵器も戦争もない未来を、そして９条を守る　松藤富隆・比沙子　広島県
９条は宝　阿部純子　愛媛県
米軍基地のある限り、平和ではありません　久保田昇　長野県
後始末できないことが最初からわかっている原発も問題外です。山脇哲子　東京都
Only the people can stop the War　岩井健作・岩井溢子　神奈川
今こそ　九条のもとに　団結しよう　向井好美　広島県
九条が窮状を訴えている！助けにいこう　稲生慧　山口県
原爆も原発も人類と共存できない　島あけみ　千葉県
考えよう　本当にそれでいいの？　渡辺栄子　神奈川
やっぱり　核はいらんです。　菅茂樹・みゆき・こゆき・惇　広島県
新生日本　世界平和への公約　加藤義正　広島県
世の中今コワイです。改憲着々の様子も新聞は報道しない　関千枝子　東京都
核兵器同様、原発もいらない！　中島康子　神奈川
核のない日本に！　大畠一洋　広島県
守って生かそう！憲法九条　深澤睦子・大池良三・大池きぬ江　神奈川
原発も米軍基地も無い日本列島を子どもたちに残したい。木村雅英・啓子　東京都
危機を煽り戦時に慣れさす政策にメディアも乗りで進むこの国　成田強　北海道
改憲よりも復興に政治力を！　藤村美登里　広島県
今こそ憲法を守ろう　小林裕・小林冨美子　東京都
原爆と原発　どちらもいらない！　水戸洋子　東京都
一人一人の小さな願いを大きな力に！　蔵並弘子　神奈川
原発も核兵器もノー　斎藤邦泰　埼玉県
3･11 フクシマの灯、さかんなれど、
8･6 ヒロシマの灯また消すなかれ！　（匿名）　東京都
戦争と原発をなくし　住みよい世界にしましょう　齋藤修　静岡県
原発事故も戦争も人災です。子供たちへ申し訳ない気持ちです。
『戦争をしない、原発いらない』を強く訴えてゆきたいです。共生舎なずな薬局　東京都
行政は憲法を守る義務があるはず。　広島市教職員組合（新市教組）　広島県
人間はまちがえる動物である。大きなまちがいはすべきでない　清水諦観　広島県
使用済核燃料水素爆発。高経年炉、
言葉のまやかしの向うの真実を知る　奥下厚子　香川県
今こそ止めよう　原発を！！　小幡扶佐子・小幡香菜子・小幡茉莉子　滋賀県
今年も反核、脱原発、護憲（９条）運動を頑張りましょう。馬場一郎　広島県
世界政治の指針―日本国憲法　野尻賢二　大阪府
９条こそ人類の宝　久保田愛子　長野県
９条は日本も誇る世界の宝である。　代田佳久　長野県
世界平和の鼓動　ひろしまから　永久発進！　花ノ木清子　広島県
『ざまを見ろ』　太田洋子の声が聞こえる　森山洋子・景　広島県
止めよう！原発！！　原発も核も、死の灰を生み、
そして安全な処分はできない　船津あき子　広島県
軍事費を削減して被災地に予算を！！　石田弥生　東京都
武器は命を奪い、築き上げた文明を破壊します！！　高崎孝子　広島県
憲法第９条を守り、脱原発へ！　西川恵子　広島県
とわに忘るべからざる日　岡村達郎
諸国友好と脱原発・核廃絶を願う。　兼綱國章・寿美子
憲法第９条の精神を永遠に！　後藤安子
①原爆を投下して無辜の市民を殺戮した米国に追随するのはおかしい。
②アメリカは原爆投下の罪を認めよ！　（匿名）
戦争は　人のつながり　こわしてく　八木敦子　広島県
平和と暮らしを奪う核（兵器・発電所）に NO（否）！　生越哲男・武子　神奈川
核も原発もほんまにイラン！もうたくさん！　紺田亮・かおり　広島県
新聞でのヒロシマアピール心から賛同します。　汐崎啓子　京都府
原発反対！　吉野登喜子　広島県



8.6 ヒロシマ 2011 報告

ヒロシマ・ナガサキとフクシマをつなぐ２つの集会とウォ - ク

福島原発事故によりヒバクシャを生み出してしまった今年の8.6 ヒロシマ、私たちは、「原発も核兵器のない世界へ」を思いっきり大きく打ち出しました。3.11 以降、脱原発を訴え 4 月、5 月、6 月と息つく暇もなく行動をしてきた「原発なしで暮らしたい人々」のメンバーは「核兵器と原発を分けちゃダメ、ヒバクをテーマに一緒にやろうよ」と呼びかけました。昨年 200 人だった原爆ドームから中電への 8.6 ウォ - クは、今年は 1500 人になり、今年を象徴していたのではなかったかなと思います。また 8.6 午後は昨年まで、核兵器廃絶をめざす会と、劣化ウラン兵器の禁止をめざす会がそれぞれ集会を行っていたのですが、脱原発グループが入ることで合同集会を実現することができました。

「ヒロシマ」が原発推進に使われてきた？！

私たちは「核を軍事利用と商業利用に分けるな」「戦争責任をあいまいにするな！ 在外被爆者に謝罪し償え」と言ってきました。しかし広島市や被爆者団体を先頭に「核兵器廃絶」は訴えるものの「ヒロシマは反原発は言うな」「ヒロシマは加害を言うべきではない」が大勢でした。最近、なぜヒロシマが反原発は言わないか分かってきました。米国と日本政府が意図的に「アトムズ・フォー・ピース」としてヒロシマを利用したのです。ビキニ核実験による第五福竜丸被爆の怒りと恐怖は、原水爆禁止を求める大きな動きになり、1955 年 8 月広島での第一回原水爆禁止世界大会につながりました。その陰で米国が原発を日本に売り込むために「原発は平和利用で核兵器とは目的が違う。苦しめられた核が平和に使われるのだからいいじゃないか」とてヒバクシャを欺き、ヒロシマが原発推進に使われることになったのです。1956 年には、原爆資料館で原子力平和利用博覧会も開かれ、多くの広島市民、子どもたちも動員され、私も記憶に残っています。それ以後、平和都市ヒロシマの運動で原発問題が大きく取り上げることはありませんでした。しかし今、平岡敬元広島市長は「平和利用という言葉に惑わされた」と間違いを自ら認め、原発を否定され、被爆者の中にも、証言をする時には脱原発も、9 条も話していきたいという声が聞かれるようになりました。広島も変わらなければ…

①8 月 5 日「**8・6 ヒロシマ平和へのつどい**」

「ヒロシマから」木原省治さん（原発はごめんだヒロシマ市民の会）
「ナガサキから」平野伸人さん（全国被爆 2 世団体連絡協議会）
高校生一万人署名活動実行委員会
「岩国から」田村順玄さん（岩国市議会議員）
「玄海現地から」石丸初美さん（玄海原発プルサーマル裁判の会）
「フクシマから」佐藤和良さん（いわき市議、脱原発福島ネットワーク）
「2015 年核被害者世界大会の提唱」田中利幸さん（広島平和研究所）
多くの提起が行われ、最後に「市民による平和宣言 2011」を採択しました。

②8.6 ヒロシマ NO MORE ヒバクシャ みんなでウォーク

この実行委員会は元気でした。上関の海を祝島島民と共に守ってきたカヤッカ―たちと彼らにつながる人たち、従来から取り組んできた広島の私たち、そして新しく加わってくる人たち。非暴力であれば誰でも OK。意見がどんどん出て納得するまで話し合いました。呼びかけ文を書きあげ、やっとのことでチラシが出来ました。すべてはこの呼び掛け文に表現されています。

記者会見をし「さぁ呼びかけよう！」という時になって、「みんなでウォ - クでも平和宣言を出そう」という声が出ました。広島市の平和宣言が脱原発から後退することが分かったからです。それから原案にいろんな意見を取り入れ、アーサー・ビナードさんに英訳を依頼し、ぎりぎり８月５日夜遅くに完成。この会は、話し合いでは常にみんな対等です。やりたいことがたくさんあって、できるだけ実現しました。7 月末から連日昼夜、繁華街でビラまきをし、集会を見つけては会場前で配布したり、ナビア（電光掲示板）をなぜか無料で活用したり、T シャツやうちわを作って資金をねん出してくれたグループが出てきたり…　若い人たちと、今回新しく加わった人とのコラボレーションは、従来組としては嬉しい限りでした。

8.6 当日、朝からチラシ配布、8 時 15 分ダイ・イン後、「みんなの平和宣言」を読み上げ、ウォ - ク出発。広島市の平和式典に出た人がチラシを見て加わって下さったし、子ども連れの人たちもたくさん。そして北海道、福島、首都圏、浜岡、名古屋、関西、山口、四国、九州、沖縄…　各地から駆けつけて下さいました。これも、それぞれの繋がりを駆使しての合作です。始めは思い思いのプラカードやバナーを持って静かな祈りのウォ - ク、中電本社だけは原発止めろの大合唱（在特会の挑発にも乗らないように注意しつつ）、最終地点の噴水前には炎天下、韓国、フィリピン、タイ、インドネシアなど、ノーニュークス・アジアフォーラムの人たちも駆けつけて下さいました。玄海、伊方、島根、浜岡原発から現地報告があり終了しました。

「みんなでウォ - ク」無事に終わりました。本当にお疲れ様でした。
５月の中旬にはじまった打ち合わせから、全部で⑮回の会議を持ち、８月６日被爆地広島で「原発と核兵器」に対して自分たちの意思をウォークという形で表すことが出来ました。ウォーク参加は推定 1500 人。翌日、新聞 3 社に取り上げられました。福島をはじめ、各地からたくさんの方が参加してくださいました。また、伊方・玄海・島根・上関など広島近隣にある原発現地ともつながることが出来ました。たくさんの企画とも連携し、たくさんの人の想いや行動で出来たと思います。更に原発・核兵器なしで暮らしたい人々の名前で以下の要望書も提出しました。
広島市長に対して「平和宣言に脱原発を」要望書２通
佐賀県知事あて「玄海原子力発電所の再稼働を認めない要望書」
愛媛県知事あて「伊方原子力発電所の再稼働を認めない要望書」
中国電力社長あて「原子力発電所の廃止・中止を求める要望書」
今後、被爆地広島市民の声をさらに原発現地とつないで連携していかなくてはなりません。９日、佐賀県知事は議会で「２号機・３号機は安全に再稼働させる」と発言。いまだにトップは何も変わっていません。すべては市民の声や行動にかかっているのではないでしょうか。　　岡田 和樹　（ハチの干潟調査隊代表）

③8.6 午後 “内部被ばく”から問い直す核 / 原子力体制

集会は４団体合同が実現し、下記のように内容のある提起ばかりでした。その中からお２人だけ特記します。

・「ヒバク問題を考える」　振津かつみさん（ICBUW 運営委員）
・「残留放射能と今」丸屋　博さん（医師）
・「原爆と原発のマジックを読み解く」アーサー・ビナードさん（詩人）
・「核被害者世界大会開催を考える」田中利幸さん（広島平和研究所）

肥田舜太郎さん（医師）…　ヒロシマの人にお願いをしたい。福島の人には「汚染されてないものを食べなさい、逃げなさい」と言いたい。だがそれが無理なら、これから覚悟を決めて自分で内部被曝と闘うべし。広島も原爆投下されて放射線を浴び続け、何も知らされず逃げられなかったが、生き残った人もいる。ボクも多くの被爆者を診て内部被曝をしたが、こうして生きている。被曝をしてもすぐ病気にはなるわけではない。後で病気にならないよう放射線に負けない丈夫な体を作ってほしい。日本政府は、アメリカの基準を使い、内部被曝について考えようとしない。ぶらぶら病や鼻血が出ても病気じゃないと言うだろう。いずれ福島、東北の人々から広島や長崎の被爆者に聞きたいということがあるだろうが、出来る限りの援助をしてあげてほしい…　肥田先生は、原爆投下直後から救護所で被爆者治療をされ、本当に重みがあります。でも子どもたちの食べ物や水はやっぱり心配になります。

佐藤和良さん（いわき市議会議員）…　広島だからこそ反原発の声をもっと言ってほしい。ヒロシマ・ナガサキの放射線の権威者の『直ちに問題はない』を根拠に福島県は、国と共に県民を県内にとどめている。福島県民は、自主避難したいと思っても、経済的、社会的に難しい。国は避難したい人が避難できるような施策をとるべきだ。200 万人の健康調査をするというが子どもも 20MCV で大丈夫というような長崎大学の山下俊一教授と広島大学の神谷研二教授を福島県立医科大学の副学長にするようでは、調査を基に本当の健康管理をすることが彼らに出来るのか疑わしい。ABCC のように調査のための調査であってはならない。福島に住めばヒバクを免れない。くだもの、やさい、牛肉、海産物など測定を充実させ、自分がどのくらい内部被曝をするのか知って生きていかねばならない。憲法 25 条の生存権を保障するために健康管理手帳を配布し、手帳を持てばどこでも検査、治療ができ、働けない人には生活保護を、損害賠償とは別に、医療、福祉、総合的な国が責任をもって援護対策するべきだ。

今、いわき市は福島の中でも放射線の値が低いため１万５千人が避難されていて今後２万人に増える見込みだ。また原発労働者が増え原発立地町がいわきに移動した感がある。交通量も増え、傷害事件も起き、夜の飲食店街など街が変貌した。住宅、ゴミ、教育、社会保障、病院、介護施設、雇用…　その上、放射性瓦礫　廃棄物の管理など問題は山積。自治体だけでは到底できない。国が財政負担をしなければ。原子力委員会は環境省の外局などではなく独立させ、東京電力本店をいわきに持って行くくらいやっていい。相当な長期間が要するだろうが責任者は現場に出て汚染された水を飲み、食べ物をたべ、事業者がやけぶとりをすることなく本当に市民に貢献し社会的責任を負うべきだ・・・と強く訴えられました。

佐藤さんには集会やドーム前で何回も発言をして頂きました。

今年の 8.6 は私の場合、5 日早朝から６日の夜終わるまで緊張の連続でしたが、皆さんからたくさんのエネルギーをもらって乗り切ることができました。でも、福島第一原発事態はより深刻化し、収束の筋道も見えてきません。アメリカの原爆傷害調査委員会（ABCC）は、広島・長崎の被爆者をモルモットにし、低線量被曝を無視した基準を作り核開発を続けました。放射線影響研究所も原医研も、放射能の影響を最小限にすることをこそ彼らの使命とすべきです。私たちはこれから広島の役割についてしっかり考え、もっと声を上げていきたいと思います。　　藤井純子

写真提供　戸村良人さん

ヒロシマこそ脱原発を！と熱く語る佐藤和良さん

震災後から戦争前夜へ

～フクシマの闇と、ヒロシマの闇

岡本法治（海と風と光の会）

悲しみは、いのちの大地です。人は悲しみを通していのちの豊かさを知ります。深い悲しみの大地から、人生を貫く願いの言葉が現れます。コトバは風のように広がり、すべてのいのちを包んでゆきます。

3 月 11 日の震災の後、4 月 4 日・5 日、4 月 28 日から 5 月 2 日、6 月 13 日から 17 日までの三回にわたり、福島や仙台、石巻、女川に寄せていただきました。どなたからお話を聞いても、深い悲しみのあふれる内容でした。特に福島では、放射能による汚染の中で、先が見えない不安をいっぱいに抱えておられました。

現在抱いている不安を、安心して語ることができる場所が必要だ、それは広島しかないのではないか、そんな思いで、8 月 4 日から 9 日までの約一週間、福島の方を広島にお招きする計画を立てました。さまざまなご縁で子供九名、大人八名の総数 17 名がお越し下さいました。

車では 1100 キロ 15 時間の行程が、新幹線を使えば 6 時間半で広島に着きます。8 月 4 日の夕方五時から、原爆ドーム東隣の西向寺で、世界の大学生 30 名との交流会を開きました。国際大学ネットワーク（INU）の セミナー「地球市民と平和」のテーマで広島に集まって来た大学生です。

「子供たちはどう避難していますか？」「帰りたいですか、帰りたくないですか？」「原子力発電について考え方が変わりましたか？」「これまでに原発事故の可能性を考えましたか？」「もしもあなたが広島に住んでいたら被災者のために何をしますか？」「日本政府の対応についてどう思いますか？」質問に対する答えは、主に飯舘村の杉岡さんがされました。その後、近くで懇親会を持ちました。

8 月 5 日は、平和公園の資料館や国立の祈念館を見学したあと、広島城や縮景園まで、往復 12 キロの道のりをひたすら歩きました。夕方は、西向寺から出る提灯行列に参加しました。

福島の人たちと原爆資料館噴水前で

写真提供　岡本法治さん

8 月 6 日は、朝平和公園の式典に参列し、10 時から基町小学校で『はだしのゲン』の原作者の中沢啓治さんや、ニューヨーク在住の画家の黒田征太郎さんに遇いました。基町小学校は、飯舘村の小学校に千羽ツルを折って送られた学校です。黒田さんは、最初にゾウの絵を描き、次にアリの絵を描いて、象も蟻もいのちは同じと語り、みんなに「いのちの絵を描こう」と呼びかけました。訪問した大人も子供も、小学生と一緒に絵を描きました。

午後には、平和公園を毎日無料で案内して、5 年間で 12 万 6000 人（内 18000 人が外国人）に説明された三登浩成さんのお話を聞きました。「8 月 6 日は、月曜日。8 時 15 分という、みんなが外に出ている時間を狙って、アメリカは爆弾を落とした。」「戦後の占領下では ABCC という研究所が作られ、治療は一切せずに、研究対象とされた。」「亡くなると解剖され、その内蔵が抜き取られ標本にされた。」「被爆手帳は、一部の人にしか渡されなかった。しかもそれを受け取ることは、結婚できないかもしれないということを意味していた。」「今でも八割の人は、原爆の惨状を語ることができない。」

お話の内容は、とても衝撃的なものでした。しかしその中で、広島の人たちがどのように生きてきたのか、高校生もしっかりと話を受けとめていました。夕方は、灯ろう流しに出かけたり、近くの盆踊りに出かけたり、自由行動でした。

8 月 7 日は、宮島に出かけ、水族館に行ったりして、観光をしました。

8 月 8 日は、原爆養護ホームの倉掛のぞみ園の鎌田七男理事長のお話を聞きました。福島の人全員に健康手帳を渡すべきだというご意見でした。

このたびの広島訪問を通して考えさせられたのは、原爆が落とされて 66 年経っても、ヒロシマはまだ闇から解放されていないことでした。放射能は身体の免疫力を奪うので、広島がそうであったように、福島の子供たちはやがて就職や結婚に際して辛い想いをする時がくるかもしれません。フクシマを闇にしてはいけないのです。放射能の被害に向き合い、共に歩む道を探してゆくことが、フクシマだけでなく、ヒロシマの闇も破ってゆくひとすじの道だと思います。

ピカに遭った人は、この世のものとは思えないきれいな光を見たと言われます。原子の光は美しい。しかし、それに群がり渦まく権力や欲望の渦は底なしの闇を作って、やがてわたし達を戦争に導いてゆきます。これを超えていく道は、人間の尊厳を回復し、誇りを持ったコトバを語りあうことしかないと痛感します。（合掌）

福島　いわき市に行ってきました

広島から 50 歳以上の 4 人 +1 人

中央が案内して下さった波瀬川さん　写真 久野成章さん

広島から 5 人で福島のいわき市に出かけ、「さようなら原発 子供たちと私たちの未来を作るパレード！」に参加ました。8 月 6 日、広島にお招きしたいわき市議で脱原発福島ネットワークの佐藤和良さんが、是非福島を見て下さいと言われ、現地を観なければと思ったからです。2 人が 26 日発、3 人が 27 日発。（東京から一人合流）いわき駅周辺では子どもも含め殆どの人がマスクをしていないのです。私たちもしないことにしました。地元新聞によれば、現在のいわき市の平均環境放射線量は 0.17~0.19（msv/h）で福島の中では比較的低いようです。（ヒロシマは 0.05 位？）佐藤和良さんは忙しい 9 月議会の前にもかかわらず多くの人と交流と、原発 20 キロのところまでの案内までを設定して下さったおかげで様々な人との交流ができ、充実した 3 日間となりました。

8 月 27 日　佐藤和良さんと 1 時間半、お話をしました・・・（抜粋）　福島県も県内の各自治体も住民がいなくなってしまうことをと非常におそれている。町ごと一時移住という方法もあるのに県知事は国に受け入れないよう訴え、国からそれを各自治体に通達を出しているらしい。せっかくの受け入れ申し出が無駄になっている。命よりも自治体の存続が大事か？　福島県は 200 万人の健康調査のために問診表を送り始めている　それぞれの書いた行動記録から積算線量を計算して放射線量の高い人から 20 万人にしぼり詳細調査をするというが避難地域の人は 8 万人。福島市や郡山市など線量の高い地域に 70 万人住んでいる。もれた多くの人は公的な医療や生活の支援が受けられなくなる。しかもどのような被害が生じたかのデータだけが欲しいのではないか。健康調査というのであれば、まず、手帳を持つことから始めるべきだ。そこで多くの人々や諸機関の協力も得てプロジェクトチームを作り、まず実態をしっかりと調べることから始めるよう準備を始めた。できれば政府も認めているICRPの基準を基に1msv「以上の人には、医療や生活支援が出来るようにするべきで、まず市民からその動きをつくっていく。そのため 300 万円のベクレルモニターを必要なのでご協力を頂きたい。そして広島・長崎の権威者の安心発言には怒りを隠されませんでした。

私たちヒロシマでは、9.11 に旧 ABCC（原爆障害調査委員会）- 現放射線影響研究所と原医研の安心発言を問題化しようと勉強と相談を始めていることを伝えました。広島では被爆者がモルモットにされ、核開発に使われてきた経緯があるがずっと隠されてきて、それが福島事態につながったのではないかと思うからです。（9.11 行動詳細は別紙をご覧ください）

8 月 28 日　　女性たちとの交流会

28 日、いわき市市役所近くの「ギャラリー界隈」で、ランチを頂きながら交流をしました。面白い名前のとてもおしゃれなレストラン、というか素敵な焼き物やノーニュークスのＴシャツも売っていたり、話のできるフリースペースのようで、皆さん「久しぶりー」と集まって来られていました。佐藤さんの声かけで、なんと脱原発福島ネットや、ママの会の女性など、12 ～ 3 人が集まって下さいました。

福島第 1 原発から 32,5 キロのところで農業をしていた人、小さなお店を開いていた人…「全部だめになった。気が晴れた日はない」と涙声。以前からずっと反原発で活動をしていた人は「何度も危険だと申入れや行動をしてきたのに本当に悔しい」と。また「私も気持ちがふさいで、毎日一回は涙が出る」という人も。若いママが「これまで考えてこなかったけど、放射能は本当に怖い。子どもを守れるのか？」と涙。こちらから「疎開は考えますか？」とお聞きしたら「子どもの学校や仕事がある」「マスクさえもしにくい状況で出にくい」と難しそう。中に「土曜日は新潟に行っている」という人もいましたが「全部自費で交通費もホテルもだから続かない」と不安そうでした。また「放射能のことで差別を感じる。子どもも気がかり」、「いわきナンバーが入れないお店がある」「他の車と別の所に置く駐車場がある」など、すぐ近くの茨城県の水戸でさえもそういわれたとまた涙。

彼女たちは、多くの不安を抱え、それを口に出し人に聞いてもらうことで前に進もうとしているようにも思えました。悩みが大きすぎて解決する方法もなかなか見つからない状態で、私はそれを聞き、受け止めるのがやっとでした。しかし、私たちに気持ちを話し、泣いてくださって、次の日、ウォ - クで集まったときにも「昨日はありがとうございました」」と向こうから声をかけて下さいました。信頼をして下さったのだと思うと 7 時間もかかった福島がずっと近くなった気がしました。もう一度、彼女たちに会いに行きたいなと思っています。（藤井純子）

8 月 27 日　保育所訪問

3 時から、佐藤和良さん (いわき市議) の案内で好間保育所（社会福祉法人さくらんぼ会）を訪問。この保育所では「自然は子どもの教科書」の理念で水や土と触れ合う方法での保育に取り組んでいる。しかし、原発震災による放射能汚染に直面し、子どもたちの外部・内部被曝、および食事へ配慮等に苦労しているそうだ。その現状を保育主任の方からお聞きした。子どもたちが受ける線量を少なくするために雨樋などの洗浄や表土剥ぎも実施されているとか。地産地消はできないので給食用食料の確保が大変らしい。それなら広島から安心できる野菜を送る運動で支援しようと相談した。

8 月 28 日　津波被災地区に行く

デモは午後からなので、午前中は長谷川秀雄さん（NPO 法人「いわき自立生活センター」理事長）の車で津波被災した海岸地域、広野町そして第 1 原発から 20 キロ地点の立入禁止区域入り口までを案内してもらった。

いわき市は人口 34 万で福島市に次ぐ福島県の中心都市。いわゆる「浜通り」の南に位置し、面積は東京都より広いらしく、平坦な平野が続いている。まずは海沿いを走る国道 6 号線を北上し、四ツ倉、久ノ浜を見る。かなりの家が津波で破壊されている。まさにコンクリートの土台のみとなった敷地があちこちに。破壊さ

警戒区域 20 キロ圏入り口　大阪県警が来ていた。普通の制服で？

写真提供　渡田正弘さん

れたままで未だ解体されず残っている家も多い。TV や雑誌で見てはいたが、目の前で見ると津波の破壊力のすごさを実感する。

広野町と警戒区域 20 キロ圏入り口

そして、いわき市の北から楢葉町（第 2 原発のある）の隣に位置する広野町に入る。作業関係者車両以外ほとんど通らないとかで交通量が一気に減る。ここは第 1 原発からは 25 キロくらい。つまり緊急時避難準備区域になる。駅前の商店街を通ってみるとほとんど人の気配がしない。不気味である。さらに進むと右手に東電の広野火力発電所の煙突が見えてくる。まもなくパトカーが交通止めしている警戒区域 20 キロ圏入り口に到着。すぐ右に有名な Jヴィリッジの銀色屋根が見える。マスクも防護服も着用していない警官に「ここより 20 キロ圏なので通れません」と言われたので、ここで U ターンした。私たちはマスクもなしで無防備。放射線量計も持参していないので計れない。無茶といえば無茶であり、怖くないと言えばうそになるが、マスクをつける気がしない。

塩屋崎と仮設住宅

20 キロ圏入り口から U ターンして、美空ひばりの歌「みだれ髪」に出てくる塩屋崎の海岸に行く。観光スポットであるが地震・津波での破壊でトイレも未修理状態、歌の記念碑の台座石も斜めにずれたまま。そのほかの海岸部も案内してくれた長谷川さんによると津波の影響は場所によって被害に大きな差があるとのこと。最後にいわき市内のニュータウンにある避難者用仮設住宅を見に行った。仮設住宅にも差があり、緊急時避難準備区域の広野町住民用はまさに簡単な仮設用。警戒区域の楢葉町住民用はもう少し長期滞在を見越した？造りらしい。ニュータウンに障がい者のための施設を建設中の長谷川さんたちは、避難者と地元住民がうまく共存して生活するための対策にも取り組んでおられる。

さよなら原発デモ参加

暑い中、3 時から市内の公園に集まり「いわきアクション！ママの会」と「NO NUKES MORE HEART (東京)」共催の「さようなら原発　子供たちと私たちの未来を作るパレード！」に参加。私たちや東京からの県外参加者を含め約 120 人が参加し、音楽やコスプレなど自由なスタイルで行進した。子ども連れで参加した福島県の若いお母さんも多い。小さな子どもたちはほとんどマスクをしている。しかし、マスクなしで若いお母さんに抱かれている子も・・・。私たちは重い現実と向き合って生きざるをえない人たちの気持ちをどれだけ理解できるだろうか。（渡田正弘）

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

福島の子どもたちを放射能から守ろう！ ヒロシマ・キャンペーンを始めます。

福島の子どもたちをこれ以上内部ヒバクさせないためにも、被爆地ヒロシマから私たちにできることを始めたいと思い、次のように取り組みます。

★放射能測定するためのベクレルモニターをいわきに送ろう！

福島では、内部ヒバクをより低く抑えるために、いわき市民が「いわき放射能市民測定室」（仮称）を開設し、食品の放射能汚染を測定する『水質・食品・土壌　汚染モニター（ベクレルモニター）』を配備する準備が進められています。広島からベクレルモニターを送るためにカンパを集めます。ぜひ、ご協力ください。

→　目標額：ベクレルモニター 1 台 300 万円

★福島の子どもたちに安心して食べられる野菜を送ろう！

訪問した好間保育所の子どもたちが安心して食べられる野菜の入手が困難と聞き、広島から、できるだけ放射能に汚染されていない安心して食べられる野菜を送りたいと思います。ご協力くださる方はご連絡ください。

福島の子どもたちを放射能から守ろう！ヒロシマ・キャンペーン
連絡先;090-6835-8391（渡田）090-7540-0332（大月）

★福島の子どもたちを放射能から守ろう！ 脱原発ＡＢＣＣ（比治山）デモ

9 月 **11** 日 (日)　　10：00 ～ 12：00
10:00 ～　原爆ドーム前スタート集会
10:30 ～　脱原発ＡＢＣＣ（比治山）デモ　スタート
原爆ドーム前→相生通り→駅前通り→比治山・ＡＢＣＣへ
12:00　比治山・ＡＢＣＣ前に到着予定。
主催：原発・核兵器なしで暮らしたい人々

新　聞　【新聞定価1ヵ月3,007円(本体2,864円)】1部売り(消費税込み)130円　(第3種郵便物認可)

平和宣言に「脱原発」を

人間破壊の怖さ 原爆と同じ

毎日 6/26

広島 入市被爆の81歳

「核の恐ろしさは原爆も原発も人間を破壊することでは全く同じです」。原爆投下後の広島市郊外で救護活動をした岡田黎子さん(81)=広島県三原市=が、自身の思いをつづった文章を松井一実・広島市長(58)宛てに送った。市長は8月6日の平和記念式典で読み上げる平和宣言を初めて作るのに際し、被爆体験談を公募。寄せられた73件には、東京電力福島第1原発事故を受けて、核の脅威への思いを記したものが複数あるという。岡田さんは「被爆者の一人として今言わねばなりません」と筆を執った。【樋口岳大、写真も】

4月に就任した松井市長は母親が被爆者で、広島市長では初の戦後生まれ。初めての平和宣言作成に当たり、被爆者の体験談や思いを今月20日まで公募した。市長や原爆資料館長、被爆者代表らでつくる選定委員会が内容を選び、市長が起草する。応募があった文章は自らの被爆体験が中心だが、収束しない福島原発事故に思いを寄せたものもあった。

岡田さんは1945年8月6日の原爆投下時、高等女学校3年だった。広島市の東約50キロの大久野島(竹原市)にある毒ガス工場に学徒動員されていた。終戦後、被爆者の救護を学校長から命じられ、同18日に広島市内を通って郊外の学校に行き、救護を始めた。

救護所には重傷者が横たわり、むせかえる臭いにめまいと吐き気を覚えた。トラックで運ばれてきた女性は、全身がうんだように黄緑色に腫れ、何も食べられないほど衰弱していた。かたわらの乳飲み子を気遣いながら、「爆弾が落ちた時はけがも何もなかったのに、こんなになってしまった」と言ったのを覚えている。

8月の終わりごろまで救護活動をした。戦後ずっと体がだるく、10年ほどは傷口がすぐに化膿し、できものができた。けがのなかった人の衰弱や自分の体調不良は原爆の放射線が原因と考えている。戦後は中学、高校の美術教諭を務めて、大久野島での作業や被爆者救護などの戦争体験を描き、画集を出版した。

福島原発事故には情報公開が不十分と感じ、「放射能の恐ろしさを知らせなくては」と思った。「原爆だけでなく、原発の廃絶も世界に発信してほしい」とわき上がる思いを記した。「平和って何。戦争がなければ平和と言えるのか。原発は大きな力で平和を壊すのではないのか。経済よりも、かけがえのない命を一番大切にするべきだ」

被爆者を救護した体験を語る岡田さん=広島県三原市で22日

活動報告 2011 年

6 月
- 4 日（土）　第九条の会ヒロシマ発送作業
- 11 日（土）　＊脱原発 100 万人アクションｉｎヒロシマ
- 12 日（日）　＊九条の会・福山（講師：湯浅一郎さん）
- 14 日（水）　＊上関原発止めよう！広島ネットワーク中電前行動
- 15 日（木）　広島県 9 条の会ネットワーク例会
- 25 日（土）　上関原発止めよう！広島ネットワーク本通街宣
- 28 日（火）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑥
- 29 日（水）　＊中電株主総会　脱原発株主提案
  上関原発止めよう！広島ネットワーク本社前行動

7 月 1 日（金）　8・6 新聞意見広告ヘルプハガキ発送
- 5 日（火）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑦
- 10 日（日）　＊岩国基地の拡張強化を許さない！
  広島西部住民の会・講演会（講師：湯浅一郎さん）
- 11 日（月）　広島県九条の会ネットワーク例会
- 12 日（火）　第九条の会ヒロシ世話人会⑧
- 17 日（日）　＊上関原発止めよう！広島ネットワーク世話人会
- 19 日（火）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑨
- 19 ～ 21　8・6 新聞意見広告名簿整理
- 26 日（火）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑩意見広告校正 1
- 27 日（水）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑪校正 2
- 28 日（木）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑫校正 3
- 29 日（金）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑬校正 4

8 月 5 日（金）　8・6 ヒロシマ平和へのつどい 2011
- 6 日（土）　8・6 新聞意見広告、市民による平和宣言配布
  グラウンドゼロのつどい
  8.6 ノーモアヒバクシャみんなでウォ - ク
  被爆 66 年ヒロシマ集会
- 8 日（月）　8・6 新聞意見広告コピー発送
- 10 日（水）　第九条の会ヒロシマ世話人会⑭
- 12 日（金）　＊上関原発止めよう！広島ネットワーク事務局会
- 16 日（火）　広島県 9 条の会ネットワーク例会
- 20 日（土）　広島県 9 条の会ネットワーク交流会（尾道）

沼田鈴子さんが亡くなりました。でも未だ、また会えるような気がしています。次号には様々な方の追悼文をお届けするつもりです。（フ）

お知らせ

◆ひろしま医療人・九条の会憲法学習会

9 月 11 日（日）14：00 ～ 16：00　広島平和記念資料館
講師；**伊藤真**さん（憲法研究所所長・伊藤真の司法試験塾塾長）
主催；ひろしま医療人・九条の会
連絡先；082-262-5424

◆第 4 回　沖韓日　米軍基地環境シンポジウム

「どうなっているの？米軍再編
～東北アジアの米軍基地と環境問題を考える～」
9 月 24 日（土）10:00~16:00　岩国市民会館小ホール
岩国他、韓国、沖縄、神奈川、石川、長崎、鹿児島など現地から
主催：第 4 回　沖韓日米軍基地環境シンポジウム実行委員会
お問い合わせ：090-7540-0332(大月)

◆アフガン攻撃 10 年、自衛隊の海外派兵反対！
呉基地の強化を許さない！ 平和船団と総監部への申し入れ

10 月 2 日（日）　9:00　現地集合（アレイからすこじま（潜水隊前）
10:00　平和船団アピール　11:30　総監部申入れ
主催：ピースリンク広島・呉・岩国

定価　800 円
2 冊以上 600 円
5 冊以上 500 円
振替口座：
01310-9-7720
ピースリンク広島・呉・岩国

活かそう平和憲法　日米安保を考えよう
ピースリンク叢書 15 号
「平和産業都市・呉は完成したか
ー今こそ活かそう軍転法」
連絡：090-3373-5083（新田）

◆第 7 回九条の会・はつかいち総会　&　記念講演会

10 月 15 日（土）14:00－16:30（総会 13:30 ～）廿日市交流プラザ
参加費（資料代）：500 円
講師：**高井弘之さん**（えひめ教科書裁判を支える会）
「坂の上の雲が作り出すもの」
主催：九条の会・はつかいち
連絡先：090-3373－5083（新田）

◆ドキュメンタリー映画　『かすかな光へ』広島上映会

9 月 23~25 日 10:30~　13:30~　16:30~　レイノホール（中電本社向）
26~27 日　13:30~　16:30~　　一般 800 円　学生 500 円
★　24 日　15：30 ～　**太田堯**さんの講演会
主催：特定非営利活動法人子どもコミュニティネットひろしま
連絡先：TEL082-243-1151　FAX082-243-1152
E-mail:info@kodomo-net.jp　URL:http://www.kodomo-net.jp

◆原発の一てもえーじゃない BINGO ！
9.10 キャンドルナイト

9 月 10 日（土）19:30 ～ 21:30　福山市元町トライアングル広場
（福山駅前大通りから宮通りに入って、東へ 1 分ほど）
主催：原発の一てもえーじゃない BINGO ！実行委員会
お問合せ：090-9115-3317（坂田）

◆グローバリゼーションを問う広島ネットワーク 7 周年記念講演会
「日本の原発輸出とアジアの反原発運動」
～核も原発もいらないアジアを～

9 月 25 日 (日）14：00 ～ 16：30　広島国際会議場 3 階研修室 2
講師：**佐藤大介**さん（ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局長）
参加費：500 円 (学生半額）
主催：グローバリゼーションを問う広島ネットワーク
ホームページ：http://www.geocities.jp/hg_net2003/
連絡先：090-6835－8391(渡田)

◆反「原子力の日」　今中哲二さん講演会

福島の放射線調査から見えてきたこと
10 月 22 日（土）14：00 ～ 16：30　　広島市市民交流プラザ 6 F
講師：今中哲二さん（京都大学原子炉実験所助教）　参加費　500 円主催：上関原発止めよう！広島ネットワーク
連絡先：広島市佐伯区海老園 2－17－9（木原方）082－922－4850

◆高遠菜穂子さん報告会 in 広島

「命を見つめ続けてーイラク、福島、ヒロシマを結ぶものー」
10 月 3 日（月）16:30 ～ 18:30（開場 16:00）平和記念資料館会議室 1
参加費（資料代含む）：500 円
主催：イラク戦争の検証を求めるネットワーク広島
後援：市民社会フォーラム、ICBUW ヒロシマ・オフィス (8/18 現在)
連絡先：メール　office@iraqwar-inquiry.net

◆９条の会安佐ネットワーク　安保学習会　10 月 1 日（土）
◆県北九条の会　ピースフェスタ　11 月 3 日（木祝）
◆フルーグベル博士講演会　10 月 7 日広島市中区地域福祉センター
◆「九条の会」第 4 回全国交流会　東京・日本教育会館 11 月 19 日
◆九条の会・三原　11 月 22 日（火）　松本ヒロさん公演
◆女性九条の会ひろしま 5 周年　松本ヒロさん公演
11 月 23 日（水祝）平和記念資料館　メモリアルホール

事務局から

◆◇◆　会費納入のお願い　◆◇◆

・8.6 新聞意見広告賛同金、会費、カンパををご入金くださいました皆さん、ありがとうございました。
私たちは皆さんのご支援で活動することができます。
2011 年度会費がまだの方は、引き続きご入金くださいますようお願い申し上げます。
・会費納入についてはタックシールに記載しています。既に簿入金くださっている場合はお許しください。間違いがありましたら遠慮なくご連絡ください。
よろしくお願い致します。

後記

・秋はまだかいなと思っていたところ、広島でもすんごい豪雨。坂を降りていたら、雨が滝のように流れてきた。長～い長靴なのにビシャビシャ。もしあの倍の高さだったら…皆さまも台風や大雨に気をつけて下さい。
・朝日がん大賞に長崎大のあの山下俊一さんが選ばれた？！被曝医が評価されたというが低線量被ばくの影響を軽視し、県リスク・アドバイザーをやって子どもたちが危険にさらされているのに。朝日新聞にすぐ抗議。朝日は脱原発って言ったばかりなのに。
・急性白血病で、原発労働者が亡くなった。東電は事故と因果関係はないという。抗議だっ
・原発事態に怒っている間に、高田さんが書いてくださったように衆参の憲法審査会の議員を選出するという。これも抗議しなきゃ。まるでモグラたたき？
・原発の経済効果はその時だけ。依存度を高めて困らせる。基地と一緒だ。福島は多くの人が仕事を失い基本の一次産業は壊滅状態。ベクレルモニター、野菜を送る。出来ることを。そして 9.11 は、さぁ ABCC＝放影研へ！